

# 歯科衛生士国家試験 ポイントチェック ①~⑤

歯科衛生士国家試験対策検討会 編

- ◆ 令和4年版 歯科衛生士国家試験出題基準に完全準拠!
- ◆ 教科書に出てくる重要ポイントを、効率よく学べるように整理してあります。

## ① 人体の構造と機能

歯・口腔の構造と機能

疾病の成り立ち及び回復過程の促進

- B5判 / 248頁 / 2色  
定価 2,970円 (本体 2,700円 + 税 10%)

## ② 歯・口腔の健康と予防に関わる 人間と社会の仕組み

- B5判 / 176頁 / 2色  
定価 2,310円 (本体 2,100円 + 税 10%)

## ③ 歯科衛生士概論 臨床歯科医学 1

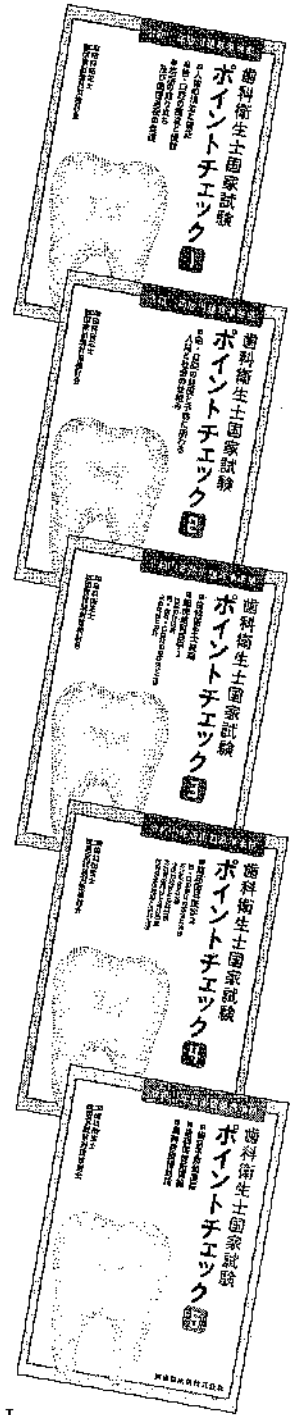
- B5判 / 200頁 / 2色  
定価 2,420円 (本体 2,200円 + 税 10%)

## ④ 臨床歯科医学 2

- B5判 / 200頁 / 2色  
定価 2,420円 (本体 2,200円 + 税 10%)

## ⑤ 歯科予防処置論 歯科保健指導論 歯科診療補助論

- B5判 / 296頁 / 2色  
定価 3,300円 (本体 3,000円 + 税 10%)



歯科衛生士校内模擬試験  
—平成29年版出題基準対応版—

解答・解説

3

—解答・解説の見方—

解説の記載は基本的に①問題に対する総論的解説、②選択肢ごとの○×、③各選択肢の解説という構成になっています。ただし、設問の性質その他によって上記の一部を記載していない問題もあります。

選択肢については内容が正しい肢に○、誤っている肢に×を付しています。

<注意>

選択肢の○×は内容主体に付されています。

正しい選択肢を問う問題については内容の正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

一方、誤っている選択肢を問う問題についても内容が正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

ex.

[正しい選択肢を問う問題の場合]

問 魚類について正しいのはどれか。

a 光合成を行う。  
 b えら呼吸を行う。  
 c 羽毛がある。  
 d 胎生である。



解答 b

a × 光合成を行うのは植物の性質である。  
 b ○  
 c × 羽毛があるのは鳥類である。  
 d × 胎生は哺乳類の特徴である。

[誤っている選択肢を問う問題の場合]

問 魚類について誤っているのはどれか。

a えら呼吸を行う。  
 b 水中を移動する。  
 c 光合成を行う。  
 d 卵を産む。



解答 c

a ○  
 b ○  
 c × 光合成を行うのは植物の性質である。  
 d ○

正解であるcに“×”が付きます

解答・解説

人体と歯・口腔の構造と機能

1	<p><b>解答:</b> c</p> <p>「脳を栄養する動脈」とは内頸動脈と椎骨動脈である。この2つの動脈は脳底部で大脳動脈輪(ウィリスの動脈輪)をつくり、脳に栄養を与える。</p> <p>a × ①は卵円孔で、下顎神経が通る。        b × ②は棘孔で、下顎神経硬膜枝と中硬膜動脈・静脈が通る。        c ○ ③は頰動脈管の外口で、内頰動脈が通る。        d × ④は茎乳突孔で、顔面神経が通る。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 25-28、46        歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 18-21、44</p>
2	<p><b>解答:</b> c</p> <p>写真はヘマトキシリン染色した歯の縦断研磨標本であり、矢印はシュレーゲル条を示している。シュレーゲル条は横断帯(暗帯)と縦断帯(明帯)が交互に配列してつくられる縞模様で、エナメル質に対して加わる外方向からの圧力に抵抗性をもつ構造である。</p> <p>a × レチウス条はエナメル質の成長線であり、エナメル小柱を斜断するような多数の平行線模様としてみられる。        b × エナメル縞紋はエナメル小柱を縦断してみられる縞模様で、1日単位の成長線である。        c ○        d × アンドレーゼン線は脱灰標本において象牙質にみられる成長線である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 218-225、262        歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 139-140、280</p>
3	<p><b>解答:</b> a</p> <p>写真は上肢骨の1つ、尺骨である。上肢の骨は上腕、前腕、自由上肢骨、上肢帯の骨からなる。上肢帯の骨は肩甲骨と鎖骨からなる。自由上肢骨は上腕の上腕骨と、前腕の橈骨と尺骨からなり、橈骨と尺骨は互いによじれることで手首の回転運動(回内・回外運動)が行われる。</p> <p>a ○        b ×        c ×        d ×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 53-56        歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 58-60</p>
4	<p><b>解答:</b> b</p> <p>a × 舌扁桃は舌根部の粘膜面に存在する。        b ○ 舌における味覚は、前2/3は鼓索神経(顔面神経)、後ろ1/3は舌咽神経が支配する。        c × 有郭乳頭は、分界溝の舌体部側に並んでいる。        d × オトガイ舌筋(外舌筋)は、舌中央を下に引き、舌尖を上方向に引く作用がある。舌を細長くする作用があるのは横舌筋(内舌筋)である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 14-18        歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 6-11</p>
5	<p><b>解答:</b> b、d</p> <p>エナメル質には、ほかの組織にはほとんどないエナメルタンパク質(アメロゲン、エナメルリン、アメロプラスチン)が存在する。</p> <p>a × コラーゲンはエナメル質には存在せず、皮膚、骨、軟骨、象牙質などに存在する。        b ○        c × ホスホホリンは象牙質に特有のリントタンパク質である。        d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 61-62</p>

## 解答・解説

6 解答: b, d

膵臓から分泌される膵液には、アミラーゼ、トリプシン（トリプシノーゲン）、リパーゼが含まれる。また、膵臓はインスリンやグルカゴンという血糖調節ホルモンを分泌することも忘れてはならない。

- a × 塩酸は胃から分泌される。
- b ○ 膵液に含まれるアミラーゼは炭水化物（糖質）の分解酵素で、デンプンを麦芽糖（マルトース）まで分解する。
- c × ペプシノーゲン（ペプシンの元となる物質）は胃から分泌される。
- d ○ トリプシノーゲンは膵臓から分泌され、腸液中のエントロキナーゼ（ペプチターゼ）によって活性型のトリプシンとなる。トリプシンはタンパク質を分解する働きをもつ。

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 102  
 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 100-101

7 解答: d

皮膚の感覚受容器は、自由神経終末と特殊な構造をもつ受容器（特殊神経終末）に大きく分けられ、痛覚を受容するのは自由神経終末である。

- a × 特殊神経終末の1つで、深部圧覚・振動を受容する。
- b × 特殊神経終末の1つで、膠原線維の伸展を受容する。
- c × 特殊神経終末の1つで、持続的な圧刺激を受容する。
- d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 192、196-198  
 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 158、166-167

8 解答: c

顔面の皮膚や口唇、口腔粘膜などに痛みなどの侵害刺激や触圧刺激が加わると、閉口筋の活動の抑制と開口筋の活動の促進が生じて開口する。これを開口反射といい、一種の防御反応である。

- a × 咀嚼力の調節に関わるのは歯根膜閉口筋反射である。
- b × 嚥下時の閉口に関わるのは閉口反射である。
- c ○
- d × 下顎安静位の維持に関わるのは下顎張反射である。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 94-96  
 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 221-222

## 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

9 解答: b, c

再生は何らかの原因で失われた組織が隣接する細胞の増殖によって元の状態に回復することをいう。

- a × 神経細胞は、すでに最終分化しそれ以上の分裂・増殖をしない永久細胞であるため、外傷を受けると再生は起こらず、通常、肉芽組織に置換（器質化）される。
- b ○ 口腔粘膜上皮は常に分裂・増殖を繰り返す不安定細胞にあたり、再生力が強く、外傷を受けても完全再生する。
- c ○ 血管内皮細胞は安定細胞であり、通常はあまり盛んに分裂しないが、外傷などの刺激が加わった場合には活発に増殖する。
- d × 腺房細胞は再生力の乏しい細胞で、唾液腺は外傷を受けると線維化する。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 36-37

## 解答・解説

10 解答: a

う蝕や咬耗、摩擦などの病的条件下で形成される象牙質を、第三象牙質（修復象牙質）という。これは、象牙質が削られて象牙細管が露出することで、象牙質の歯髄側に形成される象牙質である。病的条件下で形成される象牙質としては第三象牙質の他に、生活歯髄切断後に歯髄切断面を覆って歯髄腔を閉鎖するように形成される象牙質橋（デンティンブリッジ）がある。

- a ○ ①は第三象牙質（修復象牙質）である。
- b × ②は第二象牙質（生理的象牙質）で、歯根完成後に、加齢に伴って生理的に形成される象牙質である。
- c × ③は原生象牙質で、象牙質の大半を占める。
- d × ④は外表象牙質（外套象牙質）で、エナメル質やセメント質との境界面にある象牙質である。外表象牙質は最初に形成される。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 102-103  
 ポイントチェック① 第5版 132  
 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 142

11 解答: b, d

糖尿病は、血糖（血液中のブドウ糖）を低下させるホルモンであるインスリンの分泌低下や感受性の低下によって生じる。糖尿病では、動脈硬化とともに網膜症、神経症、腎症などが起こり、口渇や多尿がみられる。さらに、細菌感染への抵抗力が弱くなったり（易感染性）、創傷治癒の遅延が起こることにより、口腔内では、口腔乾燥とともに歯周炎の増悪、抜歯創の治癒不全などを起こす。

- a × 黒毛舌は舌背の糸状乳頭が長くなって着色し、舌背部に黒い毛が生えたようにみえる病変である。抗菌薬などの服用に伴う菌交代現象によって起こる。
- b ○ 近年では、歯周炎の治療により糖尿病にも改善がみられることが示唆されている。
- c × 口腔扁平苔癬は頬粘膜に生じ、レース模様白色病変を特徴とする。金属アレルギーやストレスとの関連が報告されている。
- d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 27-28、127-128、130

12 解答: c

免疫は、生まれながらに備わっている「自然免疫」と、抗原特異的な「獲得免疫」に大きく分けられる。さらに、獲得免疫はB細胞が産生する抗体（免疫グロブリン）が主役を担う「体液性免疫」と、主に細胞傷害性T細胞やサイトカインが中心となる「細胞性免疫」に分かれる。

- a × 抗体は体液性免疫において、分化したBリンパ球によって産生される。体液性免疫に細胞傷害性T細胞は関係しない。
- b × 補体活性化は主に自然免疫の反応である。
- c ○ 細胞性免疫による遅延型アレルギーの代表的な反応である。
- d × IgE抗体と肥満細胞による即時型アレルギーで、体液性免疫による反応である。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 83-84、107-108  
 ポイントチェック① 第5版 156-160  
 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 166

13 解答: a

- a ○ B型肝炎ウイルスのエンベロープに存在するHBs抗原は、B型肝炎ウイルスワクチンとして感染予防に用いられる。産生が誘導された抗HBs抗体は、体内に侵入したウイルスに結合して不活化し、肝細胞への感染を防止できる。
- b × C型肝炎ウイルスの感染予防に有効なワクチンはいまだ開発されていない。治療法として、慢性肝炎にはインターフェロンとリビリンが使われる。
- c × 抗ヘルペスウイルス薬としてアシクロビルなどがあるが、これは宿主に感染したヘルペスウイルスの増殖阻害薬であって、感染を予防するワクチンではない。
- d × ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は変異を起こしやすいウイルスなので、感染予防に効果のあるワクチンは開発できていない。感染後のウイルスの増殖を抑制する多剤併用療法が一定の効果を上げている。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 67-69

## 解答・解説

- 14 **解答：c**  
 アトロピンは自律神経支配効果器（心臓や腸管など）の受容体（ムスカリン性アセチルコリン受容体）において、副交感神経節後線維終末から放出されるアセチルコリンの伝達を遮断する競合拮抗薬である。  
 a × ①は、自律神経節のニコチン性アセチルコリン受容体であり、ヘキサメトニウムによって遮断される。  
 b × ②は、アドレナリン受容体（ $\alpha$ 受容体、 $\beta$ 受容体）であり、フェントラミン（ $\alpha$ 受容体遮断薬）やプロプラノロール（ $\beta$ 受容体遮断薬）によって遮断される。  
 c ○ ③は、ムスカリン性アセチルコリン受容体であり、アトロピンによって遮断される。  
 d × ④は、骨格筋のニコチン性アセチルコリン受容体であり、ツボクラリンやパンクロニウムによって遮断される。

文献：最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 32、73-78

- 15 **解答：b**  
 2.5~3.5%の過酸化水素（ $H_2O_2$ ）を含む水溶液をオキシドールとよぶ。オキシドールは血液や膿汁中のカタラーゼにより分解され、その際に生じる発生の期の酸素の強い酸化力により殺菌作用を示す。歯科領域で汎用される消毒薬の1つである。  
 a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 174

- 16 **解答：b**  
 密封容器とは、気体や微生物が侵入しない容器で、内部の滅菌状態を保つことができるものである。バイアル瓶やアンプルなどがあり、主に注射剤の容器として用いる。  
 a × 錠剤は、経口投与する一定の形状の固形の製剤である。  
 b ○ 注射剤は、無菌に調整した液状の製剤で、体内に直接適用するため密封容器に保存しなくてはならない。  
 c × 含嗽剤は、咽喉や口腔の消毒などの目的で使用される液状の外用薬である。  
 d × パップ剤とは、医薬品の粉末と精油成分を含む泥状の外用薬で、湿布に用いられる。

文献：最新歯科衛生士教本 薬理学 第2版 54-55

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 17 **解答：a**  
 Dreizen test は、唾液を検体としてその緩衝能を測定するもので、唾液に乳酸を滴定して行う。唾液の緩衝能を測定する試験としては、他に Dentobuff<sup>®</sup>STRIP がある。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科学予処置論・歯科保健指導論 第2版 181

- 18 **解答：b**  
 経口的に摂取されたフッ素は、主に胃腸から吸収される。その後血中に移行したフッ素は最終的に多くが尿中に排泄される。  
 a × 少量が排泄される。  
 b ○ 成人では吸収されたフッ素の約90%以上が尿中に排泄される。  
 c × 吸収後ではほとんどみられない。  
 d × 少量が排泄される。

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 158-160  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 161-163

## 解答・解説

- 19 **解答：a**  
 度数分布表とは、データの範囲を適当な区間（階級）に分割し、各区間（階級）に存在するデータの個数を集計した表のことである。階級数は観察値の数にもよるが、おおそ5~10前後がよいとされている。  
 a ○ 1点~100点を5つの階級に分類している。なお、階級幅は20（点）である。  
 b ×  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 124、128-129

- 20 **解答：b**  
 a × グリセリンは湿潤剤である。  
 b ○  
 c × ラウリル硫酸ナトリウムは発泡剤である。  
 d × カルボキシメチルセルロースナトリウムは粘結剤である。

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 128-131  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 137-139

- 21 **解答：b**  
 唾液は口腔内に存在する腺組織から分泌され、大唾液腺として耳下腺、顎下腺、舌下腺がある。  
 a × 夜間の分泌量は低下する。  
 b ○ 顎下腺や舌下腺から分泌されるものは粘性が強い。  
 c × 加齢とともに減少する。  
 d × 成人の1日流出量は一般的に1,000~1,500 mLといわれている。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 140-142  
 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 264-265

- 22 **解答：b**  
 a ×  $\Delta$ はう蝕による喪失歯（M）であり、う蝕以外の原因による喪失歯には用いない。また乳歯にも用いない。  
 b ○  $\times$ は要注意乳歯（保存の適否を慎重に考慮する必要があると認められる乳歯）を示す記号である。  
 c × COは、学校保健統計上はう蝕には含めず、処置勧告の対象にもならない。しかしう蝕リスクが高いと判断されるので、本人への保健指導や家庭との連携が必要となる。  
 d × GOは歯周疾患要観察者のことで、歯肉炎が認められるが歯石沈着は認めず、生活習慣の改善と保健指導により改善が望める者を示す。歯周疾患の精密検査や治療等のため受療が必要な者を示すのは「G（歯周疾患要処置者）」である。

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 274-279  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 274-279

- 23 **解答：b**  
 災害対策基本法に基づいて国（中央防災会議）が作成する計画を「防災基本計画」という。さらにこの計画に基づき、地方公共団体は「地域防災計画」を策定することが義務づけられている。この地域防災計画のうち、医療救護活動にかかわる事項について定めた個別計画が「医療救護計画」であり、この中には歯科医療従事者の役割などについても記述されている。  
 a × 防災業務計画は、国が作成した防災基本計画に基づいて指定行政機関や指定公共機関が作成するものである。  
 b ○  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 317  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 322  
 災害歯科医学 11-12

## 解答・解説

- 24 **解答**: b  
 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)では感染症を類型によって一類～五類に分類している。原則として入院措置がとられるのは一類感染症に罹患した場合である。
- a × コレラは三類感染症で、特定業務への就業制限がとられる。
  - b ○ ラッサ熱は一類感染症である。
  - c × A型肝炎は四類感染症で、媒介動物の輸入規制、消毒、物件の破棄などの措置がとられる。
  - d × 腸管出血性大腸菌感染症は三類感染症で、特定業務への就業制限がとられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 66-67、70-75  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 69-78

- 25 **解答**: c  
 労働者の健康を保持・増進するために重要な産業保健における3管理は、①作業環境管理、②作業管理、③健康管理である。
- a × 製品やデータなどのばらつきを管理することである。
  - b × 健康診断などにより健康状態を管理することである。
  - c ○ 労働者の作業そのものを適切に管理して、労働者への影響を少なくすることである。具体的には、作業の負荷や姿勢などによる身体への悪影響を作業方法や作業機器で改善すること、保護具を適切に用いて曝露量を減少させることなどがあげられる。
  - d × 作業環境から種々の有害要因を取り除いて、適正な作業環境を確保することである。具体的には、作業前の点検や定期点検の励行、局所排気や全体換気、清掃の励行などがあげられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 294-295  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 297

- 26 **解答**: a, c  
 国家レベルの人口統計は、国勢調査をはじめとする人口動態統計や、種々の人口動態統計から把握することができる。各地域における人口統計は、市町村や保健所が集計・解析などを行っている。
- a ○ 人口に対する出生数から算出する。
  - b × 出生数に対する乳児(1歳未満)死亡数から算出する。
  - c ○ 出生数と死亡数の差である。
  - d × 基準となる集団(ある年度の日本人人口など)とその地域の年齢別人口・同死亡数から算出する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 25-31  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 25-31

- 27 **解答**: a, d  
 疾病の進行過程に対応した予防の考え方によると、第一次予防は発病前(健康な時)、第二次予防と第三次予防は有病期に行われる予防である。
- a ○ 予防接種は感染症に罹患する前に行うものであり、第一次予防の特異的予防に分類される。
  - b × 患者の届出は患者への適切な対応を早期に行い、感染の広がりを防ぐもので、第二次予防に分類される。
  - c × 抗菌薬の使用はできるだけ早期に行うべき対応と考えられることから、第二次予防に分類される。
  - d ○ 健康教育などによる健康生活の実現は宿主の抵抗力を高めることにつながるため、第一次予防の健康増進に分類される。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 5-7  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 6-7

## 解答・解説

- 28 **解答**: d  
 わが国で行われている浄水法の多くは、沈殿→濾過→消毒→配水の順で行われており、図の①は沈殿を示している。濾過には緩速濾過と急速濾過があり、わが国では後者がほとんどである。
- a × 塩素は消毒の際に用いられる。
  - b × 紫外線は消毒の際に用いられる。近年、耐塩素性病原生物対策として紫外線処理が行われるようになった。
  - c × 水道水へのフッ化物添加(水道水フッロリデーション)はう蝕予防の目的で実施されるが、現在わが国では実施されていない。
  - d ○ 急速濾過では沈殿の過程で凝集剤として硫酸アルミニウムなどが用いられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 42-44  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 42-44

- 29 **解答**: b, d  
 熱中症は、外気においての高湿多湿などが原因となって起こる体温調節機能や循環機能の障害、水分・電解質代謝の異常による健康障害の総称である。
- a × 気圧は関係しない。
  - b ○ 気湿は空気中に含まれる水蒸気量であり、多湿は熱中症の発生を誘発する。
  - c × 紫外線に熱作用はない。
  - d ○ 輻射熱は直射日光やストーブなどから放出される赤外線による熱で、熱中症の発生に非常に関連が大きい。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 39-41  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 39-42

- 30 **解答**: a  
 地球規模の環境変化は、生態系のみならずさまざまな面で被害をもたらしている。
- a ○ 砂漠化は家畜の過放牧や木材の過剰伐採などが原因で引き起こされており、飢饉や難民が生じている。
  - b × 酸性雨は水生生物や森林に被害をもたらす。皮膚がんの増加はオゾン層破壊に伴う有害紫外線への曝露が関係する。
  - c × 温暖化は異常気象の増加や感染症流行地域の拡大などをもたらしている。毒性金属の溶出は酸性雨によって生じる。
  - d × オゾン層破壊はフロンガスなどの化学物質によって生じ、皮膚がんや白内障の発生の増加が憂慮されている。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 49-51  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 50-53

- 31 **解答**: c  
 歯科医療施設から排出される廃棄物には、一般廃棄物と産業廃棄物とがあり、さらにそれぞれについて特別管理廃棄物を区分する。医療施設における「特別管理廃棄物」と「感染性廃棄物」はほぼ同義である。
- a × 特別管理一般廃棄物である。
  - b × その他の産業廃棄物である。
  - c ○ 特別管理産業廃棄物である。
  - d × その他の産業廃棄物である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 44-47  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 57-60

## 歯科衛生士概論

- 32 **解答**: d  
 歯科衛生士法(第13条の6)に、歯科衛生士の守秘義務が定められている。
- a ×
  - b ×
  - c ×
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 47-48  
 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版 84

## 解答・解説

- 33 解答：a、d  
 歯科衛生士の業務に関しては歯科衛生士法に規定されている。  
 a○ 小窩裂溝充填は歯科予防処置の1つで、歯科衛生士の業務独占である。  
 b× 処方せんの交付は医師や歯科医師の業務である。  
 c× 有床義歯の製作は歯科技工士の業務である。  
 d○ フッ化ジアンミン銀の塗布は歯科予防処置の1つで、歯科衛生士の業務独占である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 7-17  
 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 23-32

- 34 解答：c  
 保健行動を変容させるためには、患者の心を動かす誘因と自ら心が動く動因の2要因が重要である。患者が保健行動を変えたいという自身の欲求に気づくことで、目標や目的に向かって行動できるようになる。そして、保健指導の成功には、患者との信頼関係を構築するコミュニケーションスキルが重要である。  
 a○ 患者の立場や視点に立って感じたり考えたりすると、患者は自分が言いたかったことを整理し、自分の本当の気持ちに気づくことができる。  
 b○ 目、顔、声、表情の変化、姿勢の変化、気持ち、感情を表す言葉など、患者をよく観察する。  
 c× 相手の気持ちや言いたいことを妨げず、相手の気持ちに沿って傾聴する。  
 d○ 患者の話をキーワードやキーメッセージを使って繰り返す（ミラーリング効果）ことによって、患者は隠れた気持ちに自ら気づき、心の整理ができる。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 124-127

- 35 解答：c  
 歯科衛生介入における記録（経過記録）は、SOAP形式で作成する。SOAPとは、患者の健康問題の解決を目指して診療を行うというPOS（問題志向型システム）理論に基づいた経過記録の記載方法である。  
 a× SはSubjective（主観的症候）：患者の訴えていることを記載する。  
 b× OはObjective（客観的症候）：観察した結果を記載する。  
 c○ AはAssessment（判断）：SとOから術者が考え、判断したことを記載する。  
 d× PはPlan（方針・計画）：Aに基づく治療方針や計画を記載する。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 117-118

## 臨床歯科医学

- 36 解答：c  
 a× 地図状舌の原因は不明である。  
 b× 正中菱形舌炎は舌の発育異常で、貧血とは関係ない。  
 c○ ハンター舌炎は巨赤芽球性貧血（悪性貧血）の口腔症状である。  
 d× プランマー・ピンソン症候群は鉄欠乏性貧血の症状の1つである。
- 文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 66-67、76-77

- 37 解答：d  
 糖尿病の主な検査項目は「空腹時血糖値」「75g経口ブドウ糖負荷試験（75gOGTT）」「ヘモグロビンA1c（HbA1c）」である。HbA1cが6.5%以上で糖尿病と診断される。  
 a× アルブミンは肝機能や腎機能の検査項目である。  
 b× ビリルビンは肝臓の解毒機能の検査項目である。  
 c× クレアチニンは腎機能の検査項目である。  
 d○
- 文献：最新歯科衛生士教本 臨床検査 36-37、70  
 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 115-117

## 解答・解説

- 38 解答：a  
 写真は咬耗症である。歯と歯が咬合接触することにより、接触するエナメル質および象牙質に欠損が生じる疾患を咬耗症という。前歯切縁や臼歯咬合面で咬耗が進んで象牙質が露出すると、象牙質の耐摩耗性はエナメル質よりも劣っているため陥凹を生じる。  
 a○ 咬耗は加齢によって生じるが、歯の病的損耗を起こしやすい食物を好む食生活、歯ざしりなどの異常な咬合力、切端咬合などが原因でも生じる。  
 b× 交通事故や転倒など急激な外力による外傷性の破折ではない。  
 c× 歯ブラシの誤使用で生じるのは歯頸部の摩耗症である。  
 d× エナメル質形成不全は、エナメル質形成期における障害により、歯冠の一部または全面に白濁や着色、欠損などを生じるものである。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 16-17  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 18-20

- 39 解答：a  
 写真に示すのは、模型上で製作されたラミネートベニアである。審美障害の改善を目的とする修復物で、機械的保持を得られないために患歯に接着させることが必要となる。ベニアの材質はポーセレン（セラミックス）やコンポジットレジンからなり、シランカップリング剤による表面処理とレジンセメントを用いて接着させる。  
 a○  
 b×  
 c×  
 d×
- 文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 73-75  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 94-97

- 40 解答：b、c  
 一般的に窩洞外形は複雑な形態であることから、メタルインレー修復の印象採得では精密さが要求される（精密印象）。そのため弾性印象材であるハイドロコロイド印象材（寒天アルジネート連合印象材）やシリコーンゴム印象材が一般的に使用される。  
 a× 印象材として使用される印象用石膏があるが、メタルインレー修復の印象採得には用いない。  
 b○  
 c○  
 d× 酸化亜鉛ユーージノール印象材は無歯顎の精密印象採得に用いられる。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 63-68  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 81-85  
 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 116-120

- 41 解答：b  
 写真からは上顎右側中切歯のみに変色が確認できる。本症例では事前に根管治療が行われていること、また過ボウ酸ナトリウムと30%過酸化水素水が用いられていることから、失活歯の変色であることがわかる。  
 a× 加齢による黄ばみは、多数歯にわたって生じる。  
 b○ 打撲による歯髄壊死は、患歯のみに変色が生じる。この場合、根管治療終了後のウォーキングブリーチ法が適応となる。  
 c× 外来性色素沈着は、コーヒーやタバコなどの嗜好品により多数歯に着色が生じる。まずはPMTCを行うが、満足する変化が得られない場合にオフィスブリーチ法やホームブリーチ法が適応となる。  
 d× 歯の形成期のフッ化物の過剰摂取によって歯のフッ素症が生じることがあるが、この場合は多数歯にわたって変色が生じる。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 217-218  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 71-74

## 解答・解説

- 42 **解答：b**  
 写真はスプレッダーで、ガッタパーチャポイントの側方加圧根管充填法に用いる器具である。  
 a × ガッタパーチャポイントの切断には専用の電気切断器などを用いる。  
 b ○  
 c × 垂直加圧にはプラグーを使用する。  
 d × ガッタパーチャポイントの挿入には根管充填用ピンセットを使用する。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 166-170**  
**歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 185-190**  
**最新歯科衛生士教本 歯科機器 100-101**
- 43 **解答：a、d**  
 写真の器具は歯周プローブである。  
 a ○ GI (Gingival Index；歯肉炎指数) は歯肉炎の広がりや程度と炎症の強さを同時に評価するもので、歯周プローブによる擦過で出血の有無をみる。  
 b × CPI の評価には、先端が直径 0.5 mm の球状になっている CPI プローブを用いる。  
 c × 歯垢染色により判断する。  
 d ○ 歯周プローブを用いて測定できる重要な検査項目の 1 つである。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯周病学 第 2 版 139-145**
- 44 **解答：a**  
 写真の器具はクレーン-カプランのポケットマーカである。歯肉切除術や新付着術でポケット底部の位置を明示するために使用する。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯周病学 第 2 版 93、182-183**
- 45 **解答：b、c**  
 ブリッジの種類、構成要素および特徴について理解する。  
 a × 半固定性ブリッジは、ポンティックの一侧が固定性、他側は可動性の連結装置でそれぞれ支台装置と連結されたものである。  
 b ○ 小臼歯の支台装置には審美性を考慮してレジン前装冠が用いられている。  
 c ○  
 d × ポンティック基底面が顎堤粘膜から離れている離底型 (完全自浄型) である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第 2 版 17-18、72-75**
- 46 **解答：b、d**  
 クラウンの特徴および適応症について理解する。  
 a × 歯冠全体を覆う全部被覆冠に陶材が前装されたものである。  
 b ○ ポーセレンやコンポジットレジンで歯冠の一部 (おもに唇頬側部) を覆うタイプの部分被覆冠である。  
 c × 金属を使わずに、コンポジットレジンを用いてつくる全部被覆冠である。  
 d ○ 臼歯の近心あるいは遠心側の半分を金属で覆う部分被覆冠である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第 2 版 14-17**  
**ポイントチェック③ 第 5 版 146-148**  
**ポイントチェック③ 令和 4 年版出題基準準拠 168-170**

## 解答・解説

- 47 **解答：b**  
 a × 義歯床の形態 (=顎堤の形態) から下顎であると判断できる。  
 b ○ 義歯床と連結装置のすべてがレジンであるから、レジン床義歯である。  
 c × クラスプが 3 個あり、支台歯は連続 3 歯に設置されている。  
 d × 支台歯は 3 歯で、その他はすべて欠損している両側性遊離端義歯なので、欠損歯は  $14 - 3 = 11$  歯である (智歯を除く)。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第 2 版 20-26**
- 48 **解答：c**  
 下顎の側方滑走運動時に、どの歯が接触滑走するかによる咬合分類を咬合様式とよぶ。側方滑走運動時の咬合様式は、パラノストオクルージョン、カスピッドプロテクテッドオクルージョン (犬歯誘導)、グループファンクションの 3 種類に分類される。  
 a × 咀嚼、嚥下、発音などの機能的な運動と関係なく、上下の歯を無意識に擦り合わせたり (グラインディング)、食いしばったり (クレンチング)、連続的にカチカチとかみ合わせたり (タッピング) する習慣のことをブラキシズムという。機能的な運動ではないことから口腔の異常機能とされており、通常の機能時よりも顎口腔系に強い力が加わることが多い。  
 b × 側方運動時に、作業側 (一般的に犬歯から小臼歯部) の複数の歯が接触滑走し、その際に平衡側の歯は離開する咬合様式である。天然歯列に多い。  
 c ○ 側方運動時に、作業側の歯だけでなく非作業側の歯も接触滑走する咬合様式である。とくに全部床義歯において推奨されている。側方運動時に非作業側の人工歯も接触することで、作業側の人工歯の接触滑走による義歯の浮き上がりが防止でき、義歯の安定に寄与するとされる。  
 d × 側方滑走運動時に、作業側犬歯だけが接触滑走し、作業側および非作業側の臼歯部は離開する咬合様式をいう。犬歯誘導咬合ともいう。
- 文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第 2 版 37-39**  
**ポイントチェック③ 第 5 版 125**  
**ポイントチェック③ 令和 4 年版出題基準準拠 143**
- 49 **解答：c**  
 抜歯に際し、鉗子で把持できるものは鉗子による抜歯が原則である。しかし、鉗子で把持できない歯は、抜歯挺子 (エレベーター、ヘーベル) やルートチップピックによる脱臼が必要になる。写真の上顎右側第一小臼歯は残根状態を呈するため、挺子で脱臼させた後、残根用抜歯鉗子で把持して抜歯する。  
 a × 上顎大白歯用の抜歯鉗子である。片側 (頰側) にのみ爪がついているのが特徴である。  
 b × 下顎大白歯用の抜歯鉗子である。モノアングルであり、嚙部の大きさが判定可能である。  
 c ○ 残根用の抜歯鉗子である。脱臼した残根を確実に把持して口腔外に取り出す役割をもつ。  
 d × 下顎前歯用の抜歯鉗子である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 236-238**  
**最新歯科衛生士教本 歯科機器 134-137**  
**ポイントチェック④ 第 5 版 20**  
**ポイントチェック④ 令和 4 年版出題基準準拠 21**
- 50 **解答：a**  
 カートリッジ式注射器には、浸潤麻酔用と伝達麻酔用がある。浸潤麻酔用はプランジャーの先端と親指をかける部分が平坦であるのに対し、伝達麻酔用はプランジャーの先端がモリ状またはらせん状に、親指をかける部分はリング状になっている。また、注射針の太さは浸潤麻酔では 30、31、33 G と細いものが、伝達麻酔では 25、27 G と比較的太いものがそれぞれ使われる。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×
- 文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 188-190**

## 解答・解説

- 51 解答：a、b
- a○ 小唾液腺の排泄障害によって生じ、下唇に好発する。
  - b○ 口底の正中部に生じる嚢胞である。
  - c× 未萌出の歯の歯冠を嚢胞内に含む歯原性の顎骨内嚢胞である。
  - d× 鼻口蓋管内に残存した上皮に由来する非歯原性の顎骨内嚢胞である。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 90-92、94-95

- 52 解答：b
- a× ①はS-N平面である。
  - b○ ②はPo-Orを結んだフラン克福ルト平面である。
  - c× ③は下顎下縁平面である。
  - d× ④は顔面平面である。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50

- 53 解答：a
- a○ 上顎側側切歯の舌側転位、下顎左側第一小臼歯の頰側転位が認められる。
  - b×
  - c×
  - d×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 29-32

- 54 解答：d
- a× 骨添加は牽引側の歯槽骨で起こる。圧迫側で起こるのは骨吸収である。
  - b× 穿下性吸収は過度な（強い）矯正力が加わった際に、圧迫側の歯槽骨に生じる。
  - c× 圧迫側の歯根膜は圧縮される。
  - d○ 矯正力が弱いと歯槽壁表面に破骨細胞が現れる。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 55-56

- 55 解答：c
- 装置はクワドヘリックスである。上顎歯列弓の拡大に用いられる。
- a×
  - b×
  - c○
  - d×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 74

## 解答・解説

- 56 解答：a
- 歯胚の発育過程で歯堤の一部が吸収されずに残留し、歯肉に角化物として生じるものを上皮真珠という。新生児や乳児の歯肉にみられる白色、黄白色の真珠様の小腫瘍で、1個または数個が小塊をなしていることが多い。特に上顎前歯部の歯肉に好発する。
- a○ 写真は上皮真珠である。
  - b× 萌出性嚢胞は、萌出途中の乳歯または永久歯の歯冠を覆う部分に組織液が貯留することで歯槽粘膜部に形成される嚢胞のことである。限局性、波動性の腫瘍であり、嚢胞内で出血すると青紫色を呈する。
  - c× ヘルペス性口内炎は、単純疱疹ウイルスの感染により6歳以下の小児の口腔粘膜に好発する小水疱であり、発熱などの感冒様症状を伴う。
  - d× コプリック瘻は、麻疹の前駆症状として両側の頬粘膜に生じる粟粒大の灰白色の斑点である。

文献：最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 75-76  
ポイントチェック④ 第5版 6、87、94  
ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 6、99、107

- 57 解答：c、d
- 歯科医師の説明から、本症例では生活歯髄切断法（断髄法）を行うことがわかる。歯根部に正常な歯髄組織を残すことで、歯根の生理的吸収を妨げず、後継永久歯との交換が円滑に行われることが期待できる方法である。
- a× クレンザー（抜髄針）は抜髄法で使用される。
  - b× Hファイルは抜髄法で根管形成を行う際に使用する。
  - c○ ラウンドバーは生活断髄法にて歯冠部歯髄の除去や歯髄切断に用いる。
  - d○ スプーンエクスカベーターは生活断髄法にて歯冠部歯髄の除去に用いる。

文献：最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 129-132  
ポイントチェック④ 第5版 106-107  
ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 120-121

- 58 解答：c
- a× 歯槽骨は歯の有無に関わらず減少する。
  - b× 弾性繊維の崩壊などにより弾性低下を示す。
  - c○
  - d× 歯肉上のスティッピングは退縮傾向を示す。

文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 39-44  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 52-57

- 59 解答：a
- Barthel Indexは日常生活動作（ADL）の評価方法であり、移乗・食事・トイレ・入浴・更衣・整容・歩行・階段昇降・排便・排尿の10項目について自立/一部介助/全介助の3段階で評価する。
- a○
  - b×
  - c×
  - d×

文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 76-77  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 102-103

## 解答・解説

- 60 解答: b
- a × Intravenous Hyperalimentation で中心静脈栄養法のことである。
  - b ○ Percutaneous Endoscopic Gastrostomy で、いわゆる胃瘻である。
  - c × Intermittent Oro-Esophageal tube feeding で間欠的口腔食道経管栄養法のことである。
  - d × Naso Gastric tube feeding で経鼻経管栄養法のことである。

文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 115-116  
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 103-105  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 127-129

- 61 解答: b, d
- 近い将来、要支援・要介護状態となるおそれがある高齢者（65歳以上）で、介護認定を受けていない人を選定するために厚生労働省が作成したものである。基本チェックリストは全25項目で構成され、「口腔機能」に関する項目は3つあり、規定以上のチェックが入った者は、介護予防や生活支援サービス事業の対象者となる。
- a × 口腔機能に関連する質問項目は「口の渇きが気になりますか」である。
  - b ○ 嚥下機能の評価項目である。
  - c × 栄養状態に関する質問項目である。
  - d ○ 咀嚼機能の評価項目である。

文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 223-224  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 30-31  
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 166-169  
デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 176-180

- 62 解答: a
- 国際生活機能分類（ICF）では活動を中心に置くことで、健康を定義づけている。
- a ○
  - b ×
  - c ×
  - d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 3-5

## 歯科予防処置論

- 63 解答: c
- 綿球法によるフッ化物歯面塗布では、まず歯面にフッ化物を十分に作用させるためにラバーカップなどを用いて歯面清掃を行う。次に防湿によって歯面と唾液の接触を断ってから、エアシリンジで歯面を乾燥させる。その後フッ化物溶液を綿球または綿棒に浸して歯面に塗布し、口腔内に残った余剰の薬液やゲルを乾いた綿球で拭う。
- a ×
  - b ×
  - c ○
  - d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 237-238

## 解答・解説

- 64 解答: b, d
- 図はポケットデプス（PD）、BOP（Bleeding on probing）、プラークの付着状態を示している。BOP（+）はポケット底部の炎症で、活動性の歯周ポケットであることを示している。この検査の結果から、PDが深いところがあり、BOP率も58%とかなり高い。また、プラークスコアは56%であり、口腔清掃不良であることが想定される。
- a × 歯の動揺度については示されていない。
  - b ○
  - c × PDは4mm以上の箇所もあるため、正常とはいえない。
  - d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 140-143

- 65 解答: b, c
- 歯石はプラークに唾液の無機成分が沈着して形成される。
- a × 歯石は齦歯床や歯冠修復物などにも付着する。
  - b ○ 歯石の表面は粗糙であり、プラークが付着しやすい。
  - c ○ 歯石の成分は無機質が80%、有機質が20%程度であり、無機質の主成分はリン酸カルシウムである。これに対し、有機質の主体は細菌由来である。
  - d × O'LearyのPCRで評価できるのはプラークの付着程度である。歯石の沈着程度の評価にはOHIのCI(Calculus Index)などが用いられる。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 116-117  
歯科衛生学シリーズ 保健生態学 115-116  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 31

- 66 解答: b, c
- 歯周病に関連する全身疾患には、冠動脈疾患、心内膜炎、壊疽性肺炎、糖尿病、骨粗鬆症、早産・低体重児出産などがある。歯周病によって産出された炎症性細胞が全身の健康に悪影響を及ぼすことがわかっており、口腔内清掃が重要であるとされている。
- a ×
  - b ○ 糖尿病は歯周病のリスクファクターであり、歯周病もまた糖尿病を悪化させるリスクファクターであることがわかっている。
  - c ○ 歯周病に関わる細菌や内毒素が血流に入り、アテロームを形成して血管障害を起こすことがわかっている。
  - d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 188-189  
歯科衛生学シリーズ 保健生態学 192-193  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 37-39、148-153

- 67 解答: a, c
- 歯面清掃・歯面研磨の目的は、残留しているプラークや歯石、色素沈着（ステイン）を除去し、スクーリングにより傷ついた粗糙な歯面を滑沢化し、歯石の再沈着を予防すること、患者に爽快感や審美感を与え、口腔衛生を再認識させることである。
- a ○ ハンドピースは低速回転で、断続的に操作する。このとき摩擦熱が生じないように、研磨剤を含めた湿潤状態を保つことや、過度な圧接をしないことなど注意を払う。
  - b × 飲食物（コーヒーなど）やタバコ、細菌などが原因で歯面に沈着した外来性色素沈着は、スクーリングや歯面研磨で除去できる。
  - c ○ 二次う蝕や知覚過敏、根面う蝕の予防としてフッ化物を歯に塗布する。
  - d × 色素沈着の除去には歯面清掃器の使用も有効だが、炭酸水素ナトリウムパウダーはナトリウム摂取制限が必要な患者には禁忌である。しかし、本文の患者は特に禁忌症には当てはまらない。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 222-227

解答・解説

- 68 **解答**: a、c  
 写真は小窩裂溝充填（フィッシャーシーラント）である。  
 a○ 咬合が高いと脱落の原因になるため、必ず充填後に咬合調整を行う。  
 b× 酸処理には30～50%のリン酸溶液を用いる。  
 c○ レジン系シーラント（Bis-GMA）を使用する場合は酸処理を行い、エナメル質の表層を10～30μm脱灰させる。  
 d× 銀イオンによる殺菌または静菌の働きが期待されるのはフッ化ジアンミン銀塗布である。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 258-264  
 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 116-118
- 69 **解答**: a、d  
 a○ 一般的に施術部位が下顎の場合、ヘッドレストを上げ、患者の顎を引くようにすると口腔内を直視しやすい。  
 b× バックポジションで行う。  
 c× 遠心には#13/14を使用する。  
 d○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 187、199
- 70 **解答**: c  
 写真は唾液中の乳酸桿菌（*Lactobacilli*）の菌数レベルを評価する Dentocult<sup>®</sup>-LBの結果である。なお、判定はクラス2である。  
 a× 唾液の緩衝能は Dentobuff<sup>®</sup>-STRIPなどで評価する。  
 b× 歯質の耐酸性は、エナメルバイオプシー（エナメル生検法）によって評価する。  
 c○  
 d× ミュータンスレンサ球菌数は唾液を検体として評価する。歯垢（プラーク）を検体に評価するのは酸産生菌の酸産生能である。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 179-180
- 71 **解答**: c、d  
 写真はエキスポローラーを用いたエキスポローリングである。  
 a× 歯石除去はスクレーラーを用いて行う。  
 b× PPDの測定はプローブを用いて行う。  
 c○  
 d○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 139-140
- 72 **解答**: c  
 アタッチメントレベルとは、セメント-エナメル境（CEJ）からポケット底までの距離のことである。本文では3mm+3mm=6mmとなる。また、歯肉歯槽粘膜境とは付着歯肉と歯槽粘膜の境目のことで、「歯肉辺縁から歯肉歯槽粘膜境までの距離」というのは付着歯肉と遊離歯肉を含めた歯肉全体の幅のことである。付着歯肉幅は歯肉全体から遊離歯肉幅、すなわち「ポケット」を形成している部分を引いた分にあたるので、6mm-3mm=3mmとなる。  
 a×  
 b×  
 c○  
 d×  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 140-141  
 歯科衛生士のための最新歯周病学 11-12

解答・解説

- 73 **解答**: a、b  
 フッ化物歯面塗布に用いられる主な薬剤は、フッ化ナトリウム（NaF）、リン酸酸性フッ化ナトリウム（APF）、フッ化第一スズ（SnF<sub>2</sub>）である。  
 a○  
 b○  
 c× MFPはモノフルオロリン酸ナトリウムのことで、フッ化物配合歯磨剤の成分である。  
 d× フッ化ジアンミン銀は、主に初期う蝕の進行抑制に用いられる。塗布後黒変することから、前歯部への塗布は適当とはいえない。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 234-236  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 第3版 166-167  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 169-171
- 74 **解答**: b  
 0.05%フッ化ナトリウム溶液（225 ppm）1 mL中のフッ化物量は0.225 mgである。したがって、誤飲した溶液中のフッ化物量は0.225 mg×10 mL=2.25 mgとなる。  
 a×  
 b○  
 c×  
 d×  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 255
- 75 **解答**: a  
 メインテナンスに移行する際の理想的な基準は以下である。
- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 全身状態   | 全身疾患のコントロールができている     |
| 咬合     | 安定が得られている             |
| 歯列     | 安定が得られている             |
| 歯の動揺   | 生理的な範囲内（0.2 mm以内）である  |
| 歯周ポケット | 3 mm以下（4 mm未満）で推移している |
| 歯肉出血   | BOP：-                 |
| 歯肉の状態  | 発赤や腫脹などの炎症所見はない       |
| 口腔清掃状態 | 良好である（PCR20%以下）       |
| エックス線像 | 歯槽硬線の明瞭化、均一な歯根膜腔の存在   |
- a○  
 b×  
 c×  
 d×  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 128-133  
 ポイントチェック① 第5版 43-44  
 ポイントチェック② 令和4年版出題基準準拠 45-46

## 解答・解説

- 76 **解答**: a  
う蝕活動性試験はう蝕リスク評価を目的に実施される。今後う蝕にかかりやすいかどうか、また現在あるう蝕が進行しやすいかどうかを判定し、患者指導に役立てる。
- a○  
b× RDテスト®は唾液中の *S.mutans* や *lactobacilli* などの菌がレザズリン試薬を変色させる性質を利用した検査である。  
c× Dentocult®-SM は唾液を検体とし、ミュータンスレンサ球菌数を測定する試験である。レザズリン還元性菌に含まれる *Lactobacilli* の測定はできない。  
d× Dentobuff®-Strip は唾液を検体とし、唾液緩衝能を測定する検査である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 176-181  
歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 37-41

- 77 **解答**: d  
写真はラバーカップを用いて歯面研磨を行っているところである。
- a× 歯肉を傷つけないよう歯冠方向に操作する。  
b× 摩擦熱が生じないように、1カ所に1~2秒程度の使用とし、断続的に行う。  
c× 摩擦熱が生じないように、歯面はできるだけ潤滑状態を保たせる。  
d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 224-226

## 歯科保健指導論

- 78 **解答**: a, c  
表は TDS ニコチン依存度テストで、精神医学的な見地からニコチン依存症を診断することを目的として開発されたものである。全10問の質問で「はい」を1点、「いいえ」を0点とし、点数の総計が5点以上だとニコチン依存症と診断され、ニコチン依存症管理料が算定できる。
- a○  
b× 得点が高いほど禁煙成功率は低い傾向にある。  
c○  
d× 禁煙ステージは、喫煙者の禁煙に対する意識で分類されるものである。本テストはニコチン依存症のスクリーニングテストである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 301-302

- 79 **解答**: b, d  
プラークの蓄積量を増加させ、炎症を亢進させる因子のことをプラークリテンションファクター(炎症性修飾因子)という。プラークリテンションファクターには、歯石、う蝕、不適切な修復物・補綴装置、口呼吸、咬合異常、歯列不正、歯周ポケット、根分岐部病変、歯の形態異常などがある。プラークリテンションファクターが局所性修飾因子であるのに対し、糖尿病や骨粗鬆症は全身性因子である。
- a×  
b○  
c×  
d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 31-36

## 解答・解説

- 80 **解答**: c  
a× 国民健康・栄養調査(平成30年)によると、20歳代の女性のやせ者は19.8%で、若い女性のやせは近年問題となっている。  
b× 肥満者の割合は、全体的に女性よりも男性のほうが高い。  
c○  
d× 国民健康・栄養調査(平成30年)によると、65歳以上の低栄養傾向の者の割合は、男性で10.3%、女性で20.3%となっている。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 44-46

- 81 **解答**: b, c  
義歯の形態によっては、普通の歯ブラシでは付着物をうまく除去できない場合がある。そのため、義歯の清掃には義歯用ブラシを使うことが望ましい。
- a× 舌苔などを除去する舌ブラシである。  
b○  
c○ 義歯粘膜面とクラスプ周辺の両方を清掃できるブラシである。  
d× 舌苔などを除去する舌ブラシである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 285-286

- 82 **解答**: a, c  
食品のう蝕誘発性を示す指数には、潜在脱灰能とう蝕誘発能指数(CPI)がある。潜在脱灰能は、食品の糖質量(酸産生能)と粘着性(口腔内停滞量)から求められる。
- a○  
b× う蝕誘発能指数(CPI)に必要である。  
う蝕誘発能指数(CPI) = (プラーク形成能 + 酸産生能) × (摂取中の作用時間 + 嚥下後の作用時間)  
c○  
d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 72

- 83 **解答**: d  
歯肉にメラニン色素の沈着がみられ、受動喫煙の疑いが考えられる。ニコチンやタールなどの有害物質は副流煙にも多く含まれており、非喫煙者がタバコの煙を吸い込むことによって、健康への害が生じることが知られている。
- a×  
b×  
c×  
d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 154-157

- 84 **解答**: a, d  
食物繊維はヒトの消化酵素によって消化されない食物中の難消化性成分の総称であり、水溶性食物繊維と不溶性食物繊維に分けられる。水溶性食物繊維にはペクチン、マンナンなどが、不溶性食物繊維にはセルロース、ヘミセルロース、リグニン、キチン(キトサン)などがある。
- a○ キチンはエビやカニの甲羅に含まれる不溶性の食物繊維である。  
b× ペクチンは果物に含まれる水溶性の食物繊維である。  
c× マンナンはこんにやくに含まれる水溶性の食物繊維である。  
d○ セルロースは植物の細胞壁に存在する不溶性の食物繊維である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 173-174

## 解答・解説

- 85 **解答**: d
- a × ビタミンKは血液の凝固に関与するビタミンで、欠乏すると血液凝固不全となる。
  - b × ビタミンCはコラーゲンの生成に関与するビタミンで、欠乏すると壊血病となる。口角炎はビタミンB<sub>2</sub>の欠乏によって起こる。
  - c × ビタミンDはカルシウム代謝に関与するビタミンで、欠乏すると幼児ではくる病、成人では骨軟化症を引き起こす。ペラグラはナイアシンの欠乏症である。
  - d ○ ビタミンAは視覚機能の維持や上皮細胞の正常化に関与するビタミンで、欠乏すると夜盲症やエナメル質形成不全を引き起こす。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 156-159

- 86 **解答**: d
- 食事バランスガイドとは、“何”を“どれだけ”食べたらよいかという食事の基本の目安として、厚生労働省、農林水産省が策定するものである。料理区分は、コマの最上段（最も面積が広い部分）が主食、2段目が副菜、3段目が主菜であり、コマの先の部分は牛乳・乳製品と果物に分かれている。写真の場合、主食1つ、主菜1つ、果物1つが塗られている。したがってdが正解となる。
- a × ヨーグルトは牛乳・乳製品である。
  - b × うどん1杯=主食2つ分、ひじきの煮物、野菜サラダは副菜である。
  - c × 具だくさん味噌汁は副菜、牛乳1本=牛乳・乳製品である。
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 185-187

- 87 **解答**: b
- a × 片麻痺と歩行困難があるだけでは、特に歯磨剤の禁忌とはならない。
  - b ○ 片き手がどちらかによって指導内容が異なるため、確認が必要である。
  - c × 右片麻痺なので、もう一方の手に手鏡を持ってブラッシングを行うことはできない。
  - d × 運動機能に合わせた歯ブラシの柄の改良や補助用具の工夫の支援をする。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 34-37、88

- 88 **解答**: b、d
- 摂食嚥下リハビリテーションの間接訓練とは、食物を用いない訓練のことである。
- a × ハフイングは、誤嚥物などを意識的に排出させるための呼吸訓練である。
  - b ○ 頭部挙上訓練（シャキアエクササイズ）は、喉頭挙上に関わる筋力を強化することにより、食道入口部の開大を改善させ、おもに下咽頭の残留を少なくする間接訓練である。
  - c × Think swallowとは、嚥下を意識化させる訓練である。
  - d ○ メンデルソン手技は、舌骨と喉頭の挙上により食道入口部の開大をはかる間接訓練である。

**文献**: 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 203-215、223  
最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 174-181  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 215-223

## 解答・解説

- 89 **解答**: b
- 7~8か月では下顎乳中切歯が萌出し始める。口腔清掃指導としては、授乳や離乳食の後に歯ブラシや指に巻いたガーゼで乳歯を拭うこと、口腔内に歯ブラシなどの清掃用具を入れて歯ブラシに慣らす練習を開始していくこと、夜間の授乳の回数を減らすことなどを伝える。
- a × 積極的な歯磨きが必要なのは歯が萌出する前である。写真ではすでに下顎乳中切歯が萌出を開始しているため、口腔清掃が必要である。
  - b ○
  - c × 寝る前の歯磨きの習慣化は、白歯が萌出する12~18か月頃に行う。
  - d × 子ども自身で磨ぐ練習が行えるのは18~19か月以降である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 322-323

- 90 **解答**: a
- a ○
  - b × 学童期以降（6歳以上）の発育評価にはローレル指数を用いる。カウプ指数は6歳未満の乳幼児の評価に使う。
  - c × 個体の組織・器官の発育は連続的に進行するが、常に一定の速度ではなく、臓器や年齢で異なる。スキヤモンの臓器別発育曲線では、組織・器官の発育パターンを一般系型、神経系型、リンパ系型、生殖器系型の4つに大別し、それぞれの成長曲線が示されている。
  - d × 出生時からの時間的経過で評価する年齢は歴年齢である。これに対し、歯齢や青年年齢など組織や器官の生理的発育状態を基準として評価するものが生理的年齢である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 7-11

- 91 **解答**: d
- 「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」にそって実施される、すべての働く人を対象とした心身両面の健康保持増進措置をトータル・ヘルスプロモーション・プラン（THP）という。口腔保健はTHPにおける健康づくりの「保健指導」に位置づけられている。
- a × エンゼルプランは、児童が心身共に健全に育成されることを目指して策定された計画であり、正式名称は「今後の子育て支援のための施策の基本的方向について」である。
  - b × 新オレンジプランは、認知症高齢者を対象として策定された「認知症施策推進総合戦略」である。認知症の予防・治療のための研究開発の推進等の対策が組み込まれている。
  - c × ゴールドプラン21とは、「今後5か年間の高齢者保健福祉施策の方向」として1999年に発表された計画のことであり、高齢化に向けて明るく活力ある社会を目指したものである。
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 296-298  
歯科衛生学シリーズ 保健生態学 299-300

- 92 **解答**: a、d
- 降圧薬（カルシウム拮抗薬）や抗精神薬、抗うつ薬などは、副作用として唾液の減少による口腔乾燥を引き起こすことがある。口腔乾燥によりう蝕、歯周病、味覚障害、嚥下困難などのリスクが高くなるため、歯科衛生士による適切な対応が必要となる。
- a ○
  - b × 摂食嚥下機能に問題がないため、嚥下困難は口腔乾燥によるものと考えられるため、軟食への切り替えではなく、むしろ食べ物をよく噛むことで唾液流量を増やすよう指導する。
  - c × 降圧薬の服用については、内科の医師が処方判断を行う。
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 202-203、213-214  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 362-363

解答・解説

93 **解答**: a, d  
 がんや循環器疾患、呼吸器疾患、糖尿病などの生活習慣病は「非感染性疾患 (NCDs)」ともよばれ、生活習慣の改善により発症の予防が期待できる。生活習慣の中でも、特に喫煙、間食、肥満、高血圧はNCDsのリスクを高めるといわれている。

- a○
- b× ヒト免疫不全ウイルス (HIV) の感染により発症する感染症である。
- c× インフルエンザウイルスの感染により発症する感染症である。
- d○ 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は、主に喫煙が原因となって生じる呼吸疾患である。

**文献**: ポイントチェック⑤ 第5版 85  
 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 88

94 **解答**: b, d  
 妊娠20週は妊娠中期にあたる。妊娠全期間を通して最も安定した時期であり、積極的・前向きな指導が望ましい。栄養指導は胎児の成長にも大きな影響を及ぼすため、十分に注意しながら食生活のアドバイスをを行う必要がある。

- a× 妊娠中期から後期は、肥満や妊娠高血圧症候群の予防が中心となる。つわり対策が中心となるのは妊娠初期である。
- b○ 葉酸は造血作用があり、不足すると妊婦の貧血や出生児の神経管閉鎖障害の発症リスクが高まるため、妊娠期には約倍量の摂取量となるよう付加量が設定されている。
- c× 日本人の食事摂取基準 (2020年版) では、推定エネルギー必要量は妊娠中期に一日あたり250kcalの付加量が設定されている。
- d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 313-316  
 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 196-199, 211-218

95 **解答**: a, b  
 この患者の口腔清掃自立度 (改訂BDR指標) は、  
 歯磨き (B): 座位を保ち、部分的には自分で磨く  
 歯着脱 (D): 着脱のどちらかができる  
 うがい (R): ブクブクうがいをする  
 である。この自立度に応じた支援をすることが必要である。

- a○ 水を口に含む程度はできるため、うがいの練習は有効である。
- b○ 部分的には自分で磨くことができるため、本人でできる範囲を確認しながら清掃用具を工夫・選択することが必要である。
- c× 部分的には自分で磨くことができるため、職員による全介助の依頼は不適切である。
- d× 歯磨き時に座位を保つことができるため、セミフアール位での口腔清掃の指導は不適切である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 78, 80  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 104, 106

歯科診療補助論

96 **解答**: c  
 歯科領域で使用されているレーザーには、半導体レーザー、Nd:YAG (ネオジウム:ヤグ) レーザー、Er:YAG (エルビウム:ヤグ) レーザー、CO<sub>2</sub> (炭酸ガス) レーザーなどがある。これらのうち、歯質の切削に使用されるのは主としてEr:YAGレーザーである。

- a○ 通常の光 (太陽光や蛍光灯の光など) と同じく電磁波の一種である。ただし、単一波長のため通常の光とは異なる特徴を有している。
- b○ レーザーの出力によって高出力レーザーと低出力レーザーに分けられている。
- c× Er:YAGレーザーを使用する際に必要なのは、換気の確認と、目の保護用ゴーグルの着用 (術者、患者ともに) である。
- d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 54  
 最新歯科衛生士教本 歯科機器 83-85

解答・解説

97 **解答**: a, d  
 a○ エチレンオキシドガス滅菌 (EOG滅菌) は、低温で滅菌できるため、高圧蒸気滅菌器が使用できないプラスチックやゴム製品など耐熱性のない機器の滅菌に適しており、滅菌物の損傷も少ない。

- b× 滅菌物はあらかじめよく洗浄し、乾燥させておく必要がある。
- c× 低温で滅菌できるなどの利点があるが、エチレンオキシドガスは残留毒性の強いガスであるため、エアレーション (空気置換) が必要である。そのため、環境面の問題から使用が制限される傾向にある。
- d○ オートクレーブ (高圧蒸気滅菌) だと滅菌時間が10~50分であるのに対し、エチレンオキシドガス滅菌では滅菌に1~6時間かかり、さらにエアレーションに必要な時間も8時間~7日間と長時間を要する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 32-35  
 最新歯科衛生士教本 歯科機器 24

98 **解答**: a, c  
 a○  
 b× 混水比を大きくすると硬化時間は長くなる。

- c○
- d× 混水比を小さくすると石膏の表面は緻密で滑沢になる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 214  
 最新歯科衛生士教本 歯科材料 60, 66-71

99 **解答**: b, d  
 a× ①は白歯の小窩裂溝における1級窩洞である。クラウンフォームは切縁・隅角を含む4級窩洞に使用することがある。

- b○ ②は5級窩洞である。サービカルマトリックスは、歯頸部の窩洞 (5級窩洞、くさび状欠損) に用いられる。
- c× ③は4級窩洞である。マトリックスバンドは、白歯部の隣接面窩洞 (2級窩洞) に使用する。
- d○ ④は3級窩洞である。プラスチックマトリックスは、主に前歯部の隣接面窩洞 (3, 4級) に用いられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 30-31, 106-110  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 37-39  
 最新歯科衛生士教本 歯科機器 88-90

100 **解答**: d  
 歯科材料は大きく①金属材料、②無機材料、③有機材料に分けられる。

- a× チタンは金属材料である。金属材料は曲げや衝撃への耐久性が高い。
- b× レジン是有機材料である。有機材料は耐熱性、耐摩耗性が金属より劣るが、成形しやすく、さまざまな着色ができるので広く応用されている。
- c× 合成ゴムは有機材料である。
- d○ セラミックスは無機材料である。無機材料は化学的安定性が高く、熱伝導性が小さく耐熱性、耐摩耗性に優れている一方で、展延性が小さい (加工しにくい)、脆く衝撃に弱いという欠点がある。さまざまな色に着色できるため、審美性が求められる部位で使用されることが多い。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科材料 5-7

101 **解答**: a, d  
 クラウンやブリッジなどの印象採得では支台歯の歯頸部を明確にする必要があり、印象採得前に辺縁歯肉を一時的に排除する歯肉圧排 (歯肉排除) を行う。

- a○ 圧排は歯肉を傷つけないように軽い圧で操作する。
- b× 圧排糸は印象採得直前に取り出す。
- c× 圧排糸は支台歯の歯頸部の周りの長さより数mm長く切っておく。
- d○ 圧排糸には出血や滲出液を抑制する作用があるアドレナリンや塩化アルミニウムなどが含まれているものがある。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 94  
 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 144-148

## 解答・解説

102 解答: d

写真はパルスオキシメータでプローブ（センサー）を指に装着し、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）と脈拍を測定している様子である。なお、一般的には指に装着するが、事故や病態により指での測定が難しい場合は、耳たぶに装着して測定することもある。

- a × 貧血は、血液検査でヘモグロビン濃度やヘマトクリット値を測定することで判定できる。
- b × 血糖値の測定は、血液検査として行われる。
- c × 血圧の測定には、上腕にマンシェットを巻く血圧計が用いられる。
- d ○ 酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）は一般的に96～99%が標準値とされ、大幅な低下を示す場合は、十分な酸素を全身の臓器に送れていない状態、すなわち低酸素血症になっている可能性がある。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 81  
最新歯科衛生士教本 歯科機器 55

103 解答: b

- a × 抜歯鉗子は歯の抜去に、歯の脱臼にはエレベーターを用いる。
- b ○
- c × 円刃刀はメスである。粘膜炎の剝離には骨膜剝離子や骨膜起子を用いる。
- d × ゼラチンスポンジは局所止血薬であり、抜歯窩の止血のために用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 143-144  
最新歯科衛生士教本 歯科機器 145-146

104 解答: c, d

吸入鎮静法では至適状態になったら、その吸入濃度を維持する（通常は20～30%）。なお吸入鎮静法、静脈内鎮静法ともに至適鎮静状態では呼吸・循環は正常である。

- a × 静脈内鎮静法の至適鎮静状態である。
- b × 静脈内鎮静法の至適鎮静状態であり、中等度の眼瞼下垂状態を「ペリルのサイン」という。
- c ○ 吸入鎮静法の至適鎮静状態である。
- d ○ 吸入鎮静法の至適鎮静状態である。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 196  
ポイントチェック④ 第5版 28-29  
ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 29-30

105 解答: a, c

アーチワイヤーを撤去するためには、まずブラケットとアーチワイヤーとを結紮しているリガチャーワイヤー（結紮線）を切断する必要がある。

- a ○ ホウプライヤーはワイヤーを保持するのに使用する。
- b × ヤングプライヤーは、アーチワイヤーなど比較的太いワイヤーを屈曲するためのプライヤーである。
- c ○ ピンアンドリガチャーカッターは、細いリガチャーワイヤーを切断するのに使用する。
- d × リガチャータイピングプライヤーは、リガチャーワイヤーでブラケットとアーチワイヤーを結紮するのに用いるプライヤーである。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 129-132

106 解答: a, c

- a ○ 咬頭咬合位で咬合せ、口唇を安静に保ち、または無理なく閉じて撮影する。
- b × 床面と平行にするのはフランクフルト平面（眼耳平面）である。
- c ○ 顔面規格写真は定期的に撮影することで、治療前後の変化の評価に用いることが出来る。そのため、被写体とカメラの距離や倍率などの撮影条件（規格）を一定にして撮影する必要がある。
- d × カメラレンズの高さは目の高さに合わせる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 120-121

## 解答・解説

107 解答: a, d

聴覚障害者とのコミュニケーションには、筆談や手話、ジェスチャーなどの視覚に訴える手段が用いられることが多いが、障害の程度や理解度に適した方法を把握しておくことが大切である。

- a ○
- b × 雑音の少ない環境を用意する。
- c × 補聴器は周りのすべての音をとらえて増幅するため、器具の音が不快感を与えることがある。そのため治療中は補聴器の音量を下げる、もしくは外すなどの対応をする。
- d ○ 補聴器の使用中に高い声や大きな声で話しかけると、かえって音が聞き取りにくくなるため、基本的に補聴器の使用時には静かな環境で、通常の音量で話すことが望ましい。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 62  
最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 52-54

108 解答: a, c

- a ○
- b × エックス線写真フィルムを汚してしまうと元に戻らず、重要な情報を失ってしまう可能性があるため、患者氏名などはフィルムではなくフィルムマウント（ケース）などに記載する。
- c ○
- d × 凸面がエックス線の入射側であり、エックス線写真はその方向から観察する。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 31-32

109 解答: b, d

ボンテックとは歯の欠損を補う人工歯のことで、天然歯に類似した形態をもっている。咀嚼機能・構音機能の回復や、優れた審美性、良好な清掃性などが求められるが、すべての要件を満たすことは難しいため、実際の臨床では症例に応じて基底面の形態を選択し、使い分けている。

- a × 船底型である。顎堤粘膜と線状あるいは点状に接触し、清掃性や審美性、装着感は良好である。下顎の臼歯部や前歯部に用いる。
- b ○ 鞍状型である。基底面が顎堤を鞍状に覆い、広い範囲で接触する。審美性や装着感に優れるが、清掃性は劣るため固定性ブリッジには使用できない。可撤性ブリッジに用いる。
- c × 有根型である。抜去歯の歯根長1/4程度の歯根形態を有する。抜歯直後に装着するブリッジに用いる。
- d ○ 有床型である。基底面に歯肉色の床を有し、顎堤粘膜と広く接触するため清掃性は劣る。そのため可撤性ブリッジに用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 72-73  
ポイントチェック③ 第5版 151-152  
ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 174-176

110 解答: b, c

歯科診療で排出される感染性廃棄物は、特別管理廃棄物に相当する。感染性廃棄物はその状態に応じてバイオハザードマークの色が以下のように分けられている。

- 赤——液状または泥状のもの（血液など）
- 橙——固形状のもの（使用済みグローブ、血液のついたガーゼなど）
- 黄——鋭利なもの（注射針、メスなど）

- a × 抜去歯は橙である。
- b ○
- c ○
- d × 血液の付着したガーゼは橙である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 44-45

人体と歯・口腔の構造と機能

111 解答: d  
 写真は側頭骨である。特徴として外耳孔、乳様突起、頰骨突起がみられる。  
 a ×  
 b ×  
 c ×  
 d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 18-25  
 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 16-17

112 解答: a, c  
 口腔は大きく、口腔前庭と固有口腔に分けられる。固有口腔は上下歯列弓の内側にある空間のことで、口蓋、口腔底、舌が含まれる。一方、口腔前庭とは上下歯列弓の外側および口唇と頬の間でできる空間をさす。  
 a ○ 舌小帯は、舌下面の正中部にある薄い粘膜ヒダである。  
 b × 上唇小帯は上顎左右中切歯間の歯槽粘膜から口唇内面をつなぐ粘膜ヒダで、口腔前庭にある。  
 c ○ 切歯乳頭は、中切歯のすぐ後ろの口蓋にある隆起である。  
 d × 耳下腺乳頭は上顎第二大臼歯に面する頬粘膜にある耳下腺管の開口部で、口腔前庭にある。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 10-18  
 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 6-11

113 解答: b, c  
 写真は重層扁平上皮であり、皮膚や口腔、咽頭、食道、直腸下部などの上皮にみられる。  
 a × 胃や腸でみられるのは単層円柱上皮である。  
 b ○  
 c ○  
 d × 回腸は小腸の一部であり、単層円柱上皮からなる。

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 22-25  
 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 21-23  
 ポイントチェック① 第5版 3-4  
 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 3-4

114 解答: a  
 細胞内にとり込まれたグルコースは、嫌氣的条件下でピルビン酸または乳酸に代謝される。この代謝過程を解糖という。好氣的条件下では、ピルビン酸はさらにアセチル CoA に代謝され、クエン酸回路を経てエネルギー (ATP) を産生する。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 30-33

115 解答: a  
 DNA の遺伝情報 (塩基配列) はメッセンジャー RNA (mRNA) に転写 (コピー) され、その3つの塩基配列 (コドン) が1つのアミノ酸に翻訳される。トランスファー RNA (tRNA) は、タンパク質合成の場であるリボソームへコドンに対応するアミノ酸を運ぶ働きをもつ。  
 a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 41-42

疾病の成り立ち及び回復過程の促進

116 解答: a  
 唾液の分泌量は状況により変化する。  
 a ○ 日内変動により、夜間のほうが少ない。  
 b × 夏季は体の水分を失いやすいので少ない。  
 c × 安静時より食事のほうが多い。  
 d × 安静時の分泌量は顎下腺>耳下腺>舌下腺の順に多く、刺激時の分泌量は耳下腺>顎下腺>舌下腺の順となる。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 140-141  
 歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 264-265  
 ポイントチェック① 第5版 95  
 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 104

117 解答: c  
 延髄、橋、中脳の3つを合わせて脳幹とよび、生命維持に必要な循環中枢、呼吸中枢、排尿中枢や、唾液分泌中枢、嚥下中枢などがある。中脳の上にある間脳の視床下部は自律神経系の最高中枢であり、飲水中枢、摂食中枢、体温調節中枢などが存在する。  
 a × 間脳の視床下部に存在する。  
 b × 間脳の視床下部に存在する。  
 c ○ 嚥下中枢は延髄と橋の境に存在する。  
 d × 間脳の視床下部に存在する。

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 149-152  
 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 186-189

118 解答: b  
 肺には肺を広げたり縮めたりするための筋肉がないため、肺の拡張や収縮は、肋間筋と横隔膜の運動によって行われる。息を吸うときに働く (収縮する) 筋を「吸息筋」とよび、横隔膜と外肋間筋がある。反対に息を吐くときには、通常これらの吸息筋が弛緩するが、積極的な呼息時には内肋間筋や腹筋も収縮する。内肋間筋や腹筋のように、胸腔と肺とを収縮させる筋を「呼息筋」といい、吸息筋と呼息筋を合わせて「呼吸筋」という。  
 a × 腹筋の1つで、呼息時に働く筋である。  
 b ○  
 c × 腹筋の1つであるが、呼吸には関与していない。  
 d × 内肋間筋は呼息時に活動する筋である。

文献: 最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 179-181  
 歯科衛生学シリーズ 解剖学・組織発生学・生理学 222-225

119 解答: b  
 急性化膿性根尖性歯周炎 (急性歯槽膿瘍) によって膿が溜まり膿瘍ができると、瘻孔が形成され、口腔の内外に膿が排出される。この瘻孔が皮膚を破って形成され、膿が口腔外に排出されるものを外歯瘻という。このような化膿性炎における滲出物 (膿) の主体は好中球である。  
 a × 丸い核をもつリンパ球である。T細胞、B細胞、NK細胞 (ナチュラルキラー細胞) がある。  
 b ○ 好中球は、分葉状の核と顆粒をもつ細胞である。好酸球と好塩基球も同様の形態だが、好酸球は酸性色素によって顆粒が赤色に、好塩基球は塩基性色素によって顆粒が青色に染まる。  
 c × 車輪状の核をもつ形質細胞である。B細胞が成熟・分化した細胞で、抗体を産生する。  
 d × 空豆状の核をもつ単球、もしくはマクロファージである。食食と抗原提示を行う。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 44-49、107  
 ポイントチェック① 第5版 119-120  
 ポイントチェック① 令和4年版出題基準準拠 127-128

## 解答・解説

- 120 解答: b  
 図は 21 番常染色体のトリソミー（正常では 1 対=2 本であるべき染色体が 3 本になっている）、つまりダウン症候群を示している。  
 a × 5p-症候群は 5 番常染色体の一部が欠けている。  
 b ○  
 c × ターナー症候群は性染色体 XX の片方が欠けている。  
 d × グラインフェルター症候群は性染色体 XY の X 染色体が 1 つ多い。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 10-11

- 121 解答: d  
 図に示した細菌はミュタンスレンサ球菌である。本菌が産生する酵素で、バイオフィーム、つまり歯肉縁上プラークの形成に重要な不溶性グルカン合成酵素はグルコシルトランスフェラーゼである。  
 a × ウレアーゼは、慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍の原因となるヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）などが産生する酵素で、胃液中の尿素を分解し、アンモニアを産生することで胃酸を中和する働きがある。  
 b × ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面にある突起の 1 つで、ウイルスが感染細胞から出芽し、周囲の細胞へ感染を拡大するために必要な酵素活性をもつ。  
 c × トランスペプチダーゼは、細菌の細胞壁を構成するペプチドグリカンの合成（架橋反応）に関わる酵素である。  
 d ○ グルコシルトランスフェラーゼは、二糖類のスクロースからグルコース部分を切り取り、重合する酵素で、不溶性グルカン合成に必須である。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 116-120、126-127

- 122 解答: a  
 a ○ 遺伝子である核酸（DNA、RNA）は両方に必ず存在する。ただし、細菌は DNA と RNA 両方をもつが、ウイルスはどちらか一方である。  
 b × 細胞壁は細菌にはあるが、ウイルスには存在しない。ウイルスの外側はカプシドとよばれるタンパク質の殻が覆う。  
 c × ウイルスは細胞構造をもたないため細胞膜はない。  
 d × リソソームは細胞がもつタンパク質合成小器官であるが、ウイルスは細胞構造をもたないためリソソームがない。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 14-21、48-51

- 123 解答: c  
 細菌の基本構造とグラム陽性菌・陰性菌の違いを理解する。  
 a × 線毛は多くのグラム陰性菌と一部の陽性菌がもっている。  
 b × 芽胞は、バシラス属やクロストリジウム属などのグラム陽性菌の一部が形成する。  
 c ○ 内毒素はグラム陰性菌の外膜に存在するリポ多糖で、グラム陽性菌には存在しない。  
 d × リソソームはタンパク質合成装置としてすべての細菌に存在する。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 19、27-28

- 124 解答: a  
 薬物療法は、抗菌薬（化学療法薬）や抗ウイルス薬のように病気の原因を直接除去する原因療法と、抗炎症薬や鎮痛薬のように痛み、発熱、腫脹など病気による症状を除去または軽減する対症療法がある。  
 a ○ 抗菌薬は感染症の原因菌を殺滅したり、増殖を抑制して感染力を失わせる。  
 b × 高血圧はほとんどが原因不明である。降圧薬は対症療法で、病因には関わらない。  
 c × 鎮痛薬は疼痛の病因そのものには関わらない。  
 d × 抗炎症薬は炎症の病因そのものには関わらない。

文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第 2 版 3  
 ポイントチェック① 第 5 版 186  
 ポイントチェック① 令和 4 年版出題基準準拠 200

## 解答・解説

- 125 解答: d  
 薬物の投与方法には、経口投与、注射投与、吸入、直腸内投与、経皮などさまざまな方法があり、目的に応じて使い分けられる。薬物は一般に適用局所（経口投与では胃や腸）から血流に移行して血中濃度が徐々に上昇し、最高血中濃度に達した後、代謝、排泄により徐々に低下する。一方、注射投与のうち静脈内投与は、直接血行中に投与するので吸収という過程がなく、図のように投与直後に最高血中濃度に達する。その後、全身に分布するため血中濃度は急激に低下する。

- a ×  
 b ×  
 c ×  
 d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 第 2 版 22-27  
 ポイントチェック① 第 5 版 188-189  
 ポイントチェック① 令和 4 年版出題基準準拠 201-202

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 126 解答: b、c  
 歯磨剤と洗口液は「歯みがき類」とよばれ、口腔内の清掃や保健、美化、口臭除去などを目的とし、その働きや形状によって分類される。  
 a × 液体歯磨剤と洗口液は清掃剤（研磨剤）を含まない。  
 b ○ 洗口液は単独で使用するが、液体歯磨剤の使用には歯ブラシを用いる。  
 c ○ 歯磨剤は医薬品医療機器等法により、薬用成分を含む医薬部外品と、薬用成分を含まない化粧品に分けられる。薬用成分であるフッ化物を含む歯磨剤は、医薬部外品に分類される。  
 d × グリセリンは潤滑剤である。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生懸学 第 3 版 128-131  
 歯科衛生学シリーズ 保健生懸学 137-139

- 127 解答: b  
 a ×  $\chi^2$ 検定（カイ二乗検定）は、独立した 2 つの集団において、ある事柄（フッ素症、インフルエンザなど）が生じる割合に差があるかどうかを検定する場合に使用する。  
 b ○ 2 つの事象の間に共通の要因があったり、一方が変化すると他方の値も変化したりするなど、2 つの事象の間に関連性がある場合「相関がある」という。フッ化物イオン濃度と CFI（地域フッ素症指数）という 2 つのデータの関連性を判定するため、相関分析が適している。  
 c × 一部の標本から母平均（母集団の平均）を推定するものである。  
 d × 2 つの標本の平均値を比較して、その差が統計的に有意なものなのか、あるいは偶然生じた差であるのかを明らかにする場合に用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 65、93-94

- 128 解答: d  
 国家、または公的機関が作成する公的統計のうち、行政機関が作成し、総務大臣が重要な者として指定した統計を「基幹統計」という。それ以外を便宜的に「一般統計」という。  
 a × 基幹統計である。  
 b × 基幹統計である。  
 c × 基幹統計である。  
 d ○ 一般統計である。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 13-17

## 解答・解説

- 129 **解答：c**  
 摂食嚥下運動は先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期の5期に区分されている。  
 a × ①は準備期である。食物を咀嚼し、飲み込みやすい食塊にする。  
 b × ②は口腔期である。食塊を舌の動きにより口の奥（咽頭）へ移動させ、鼻咽頭は遮断される。  
 c ○ ③は咽頭期である。食塊が咽頭から嚥下反射により食道へ送り込まれ、喉頭蓋が閉鎖する。  
 d × ④は食道期である。食道に入った食塊が胃に運ばれ、上部食道括約筋が閉鎖する。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 105-107**  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 105-107  
 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 12-13、47-79
- 130 **解答：b、d**  
 学校保健とは、学校において児童生徒、教職員の健康の保持増進を図ることなどによって学校教育活動を円滑に進めるための活動である。保健教育、保健管理、組織活動の3本柱からなる。  
 a × ①は学級活動や学校行事、クラブ活動などの特別活動である。  
 b ○ ②は対人管理のうちの心身の管理である。健康診断や健康相談、保健指導が含まれ、学校歯科医が従事する。  
 c × ③は学校環境の管理である。学校環境の安全や衛生管理などが含まれ、これは養護教諭や学校薬剤師が中心に関わる。  
 d ○ ④は組織活動である。学校歯科医は特に組織活動の中の学校保健委員会の構成員として関わる。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 269-272**  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 268-271
- 131 **解答：a、b**  
 a ○ 歯肉炎の広がりや程度の強さを同時に評価する。特定6歯の近心、遠心、唇・頬側、舌・口蓋側の4部位を観察単位とする。  
 b ○ 歯面1/3におけるプラークの付着量を評価する。特定6歯の近心、遠心、唇・頬側、舌・口蓋側の4歯面を診査単位とする。  
 c × CPIプローブを用いて歯肉出血と歯周ポケットの2つの指標で、すべての現在歯について評価する。  
 d × 歯面のプラークと歯石の付着・沈着面積を観察し、口腔衛生状態を評価する。対象歯は第三大臼歯を除く永久歯列で完全に萌出した歯である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 47、52-58**  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 158-166
- 132 **解答：d**  
 生理的口臭や口腔由来の病的口臭の主な要因は舌苔や歯周病であり、口臭の発生部位としては慢性歯周炎などの疾患部位、あるいは舌苔やプラークなどの口腔内不潔物があげられる。口臭の主要な原因物質は腐敗臭をもたらす揮発性硫黄化合物である。揮発性硫黄化合物は唾液、剝離上皮細胞、歯肉溝滲出液などに含まれる含硫アミノ酸やタンパク質が口腔内細菌によって分解されることで産生される。  
 a × 硫化水素は卵の腐敗臭が特徴の揮発性硫黄化合物であるが、脂肪酸は生臭い魚の臭いではなく酸味のある臭いが特徴である。  
 b × アミン類は揮発性硫黄化合物ではない。  
 c × 脂肪酸は揮発性硫黄化合物ではない。  
 d ○
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 200-201**  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 200-204

## 解答・解説

- 133 **解答：b**  
 WHO (World Health Organization: 世界保健機関) は、国際連合の専門機関の1つで、全世界の医療・保健水準を向上させることを目的としている。事務局の本部はスイスのジュネーブにあり、世界を6地域(ヨーロッパ、アフリカ、東地中海、南東アジア、西太平洋、アメリカ地域)に分けて、各地域事務局が担当している。日本は西太平洋地域(事務局: マニラ)に属している。  
 a ○  
 b × WHOの本部はスイスのジュネーブにある。  
 c ○  
 d ○
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 327-328**  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 333
- 134 **解答：a**  
 スクリーニング検査とは、迅速に実施できる試験や検査により無自覚な疾病を暫定的に識別することである。したがって、診断を目的としたものではない。スクリーニング検査では敏感度と特異度が高いことが望ましいが、両方とも高くすることは不可能である。  
 a ○ 敏感度とは、患者で検査陽性者の割合である。  
 b × 陽性反応的中度である。  
 c × 特異度である。  
 d × 陰性反応的中度である。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 33-34**
- 135 **解答：b**  
 分析疫学のうち、縦断研究には疾病の有無に着目する患者対照研究と、病因因子の曝露の有無に着目するコホート研究がある。  
 a × コホート研究は観察期間が長いのが特徴である。  
 b ○  
 c × 過去の記憶やデータなどに基づく患者対照研究のほうが情報の信頼度は低い。  
 d × まれな疾患については患者対照研究のほうが適している。
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 26-29**  
 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 14-16  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 13-15
- 136 **解答：b、d**  
 「感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症」はコレラ、腸管出血性大腸菌感染症などの三類感染症である。  
 a × 結核は二類感染症である。  
 b ○  
 c × 後天性免疫不全症候群(AIDS)は五類感染症である。  
 d ○
- 文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 66-68**  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 69-70

## 解答・解説

137	<p><b>解答:</b> a</p> <p>児童の疾病・異常罹患率は、「学校保健統計調査」(文部科学省)の結果から知ることができる。</p> <p>a○ う歯の罹患率は最も高値を示しているが、低下傾向を示している。</p> <p>b× わずかながら増加傾向にある。</p> <p>c× わずかながら増加傾向にある。</p> <p>d× わずかながら増加傾向にある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 264-265 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 271-272</p>
138	<p><b>解答:</b> b</p> <p>地域支援事業は、高齢者が要支援・要介護状態に陥ることを防止するために、主に介護保険の保険者である市町村が主体となって実施する事業である。</p> <p>a×</p> <p>b○</p> <p>c×</p> <p>d×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 22-23、215-218 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 24-25</p>
139	<p><b>解答:</b> c</p> <p>労働者の健康診断は事業者の義務と責任である。定期健康診断を含む一般健康診断の実施は、労働安全衛生法によって定められている。</p> <p>a× 主に労働条件を定めた法律である。</p> <p>b× 被用者などに対する医療保険を定めた法律である。</p> <p>c○</p> <p>d× 労働者の業務上および通勤時の負傷、疾病、障害または死亡に対する保障を定めた法律である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 289 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 291-292 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 89-91 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 88-89</p>
140	<p><b>解答:</b> d</p> <p>a× 介護保険の保険者は市町村である。</p> <p>b× 第1号被保険者はその市町村に住む65歳以上の者、第2号被保険者は40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。</p> <p>c× 要介護認定は市町村が行う。かかりつけ医の意見は審査の際に聞く。</p> <p>d○ 要介護者には介護給付が、要支援者には予防給付がそれぞれ行われる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 108-113 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 115-116、121-123 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 20-23</p>
141	<p><b>解答:</b> a</p> <p>都道府県は医療法に基づき、医療圏の設定、病院の機能を考慮した必要病床数の整備、へき地の医療および救急医療の確保、病院・診療所・薬局間の機能連携、医療従事者の確保などの医療計画を定めることになっている。</p> <p>a○</p> <p>b× 保健所や市町村保健センターの設置や業務などを定めている。</p> <p>c× 国民の健康増進を総合的に進めるための基本的事項などを定めている。</p> <p>d× 高齢者の医療が適切に実施されるための事項を定めている。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 56-57 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 12-13</p>

## 解答・解説

<b>歯科衛生士概論</b>	
142	<p><b>解答:</b> b</p> <p>インフォームド・コンセントとは、医師らが病状やその治療法などについて十分な説明を患者側に行い、患者がその内容について理解したうえで治療内容などを選択し、治療に同意することである。</p> <p>a×</p> <p>b○</p> <p>c×</p> <p>d×</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版 32-35</p>
143	<p><b>解答:</b> a</p> <p>医療法は国民の健康の保持に寄与することを目的とし、その中で医療の安全を確保するために必要な事項が定められている。</p> <p>a○ 医療法は、診療所等の管理者に対して、医療の安全を確保するための指針の策定、従業者に対する研修の実施等を義務づけている(第6条)。</p> <p>b× 感染症法は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」であり、主として感染症の予防および医療について定めている。</p> <p>c× 地域保健法は、地域保健対策の推進に関する基本指針などを定めている。</p> <p>d× 歯科医師法は、歯科医師の資格、業務および義務などを定めている。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 50-58 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 5-13 歯科衛生士のための歯科医療安全管理 1-5 歯科衛生士のための歯科医療安全管理 第2版 1-5</p>
144	<p><b>解答:</b> a、d</p> <p>医療を効果的に、効率的に患者に提供するためには、多職種がチームを編成してアプローチすることが重要である。</p> <p>a○ 患者の主訴や口に出せない訴えを受け止めるためには、「この人ならわかってくれる」と思ってもらえるような信頼関係の構築が大切である。</p> <p>b× 個人ではなくチームとしてアプローチするため、妥協しないことにこだわるのではなく、他職種を尊重し、理解し、柔軟な姿勢と態度をもって対応することが望ましい。</p> <p>c× 治療計画にばかり固執すると、患者にとって負担になったり治療を途中で放棄させたりしてしまう場合がある。</p> <p>d○ 歯科衛生士としての意見を他職種に適切に伝えられるためのコミュニケーションスキルを習得することが必要である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 50-52</p>
<b>臨床歯科医学</b>	
145	<p><b>解答:</b> b、d</p> <p>骨粗鬆症とは、骨の変形などの形態的な変化は認められないが、骨量が減少し、骨折リスクが高くなっている状態のことである。65歳以上の閉経後の女性に多くみられ、椎体骨折、大腿骨骨折が生じることが多い。</p> <p>a×</p> <p>b○</p> <p>c×</p> <p>d○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 258-259</p>

## 解答・解説

- 146 **解答**: a, b
- a○ ASTはALTとともに肝機能の代表的な検査項目である。肝機能障害によって肝細胞が破壊されると血液中に放出されるため、高値を示す。
- b○  $\gamma$ -GTは肝機能の代表的な検査項目である。アルコール性肝障害などで肝機能が低下すると、血液中に放出されるため高値を示す。
- c× OGTTとは経口ブドウ糖負荷試験のことである。糖尿病の検査で用いられる測定法である。
- d× APTTとは活性化部分トロンボプラスチン時間のことである。出血性素因のスクリーニング検査に利用される。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 臨床検査 30-37  
 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 92-96

- 147 **解答**: b, c
- 図は1級窩洞である。
- a× 歯軸と直交する窩底なので髓壁である。
- b○
- c○
- d× 窩壁は5つである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 21-23  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 25-27  
 ポイントチェック③ 第5版 57-58  
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 73-74

- 148 **解答**: a, d
- a○ Hファイルは根管拡大に用いる器具である。回転(リーミング)はせず、牽引操作(ファイリング)のみで行う。
- b× スプレッダーは、側方加圧根管充填に用いる器具である。
- c× 電気歯髄診断器は歯髄の生死を診断する機器である。
- d○ ピーソーリーマーは根管口部の漏斗状拡大に用いる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 9-10、151-157、165-166  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 10-11、163-164、166-169、183  
 最新歯科衛生士教本 歯科機器 68、94-96、100-101

- 149 **解答**: b, c
- 複雑窩洞を一時的に単純窩洞化し、修復操作を容易にする方法を隔壁法という。隔壁の目的は、修復材の側方または歯肉側への滲出を防ぐ、修復物の形態付与を容易にする、などがあげられる。
- a×
- b○
- c○
- d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 30  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 37-39  
 ポイントチェック③ 第5版 46  
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 57

## 解答・解説

- 150 **解答**: a, d
- 膿瘍切開法は、急性化膿性根尖性歯周炎が進行し、波動を触れる膿瘍形成がみられる場合の緊急処置として行われる。膿瘍周囲に局所麻酔を行い、メスで切開しドレーンで排膿させることによって、内圧を軽減し、症状の緩和をはかる。
- a○ 膿瘍周囲に局所麻酔を行って、周囲を消毒したのちに歯肉を切開する。
- b× 切開にはメスを、排膿にはドレーンを使用する。
- c× 歯根尖の一部を除去するのは根尖切除法である。
- d○ 膿瘍が軟らかくなり、歯肉下に膿瘍が形成されたことが切開の目安となる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 172-173  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 193-194

- 151 **解答**: b
- 暫間的間接被髄法はIPC法ともよばれる。露髄の恐れのある深在性のう蝕に対して、軟化象牙質を一層残し、覆髄剤(水酸化カルシウム製剤)の貼付による修復象牙質(第三象牙質)形成後に、再度軟化象牙質を除去し、歯髄の保存をはかろうとする方法である。
- a× ホルムアルデヒド糊剤は歯髄失活剤として間接被髄法に用いられるが、毒性の強さなどから現在は使用されなくなりつつある。また3~4週間では修復象牙質は形成されない。
- b○
- c×
- d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 134-136  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 143-146

- 152 **解答**: b
- 歯肉剝離掻爬術(フラップ手術)の使用器具、材料について理解する。
- a○ 縫合に使用する。
- b× 吸収性膜は歯肉組織再生誘導法(GTR法)に用いる材料である。
- c○ 歯肉弁の剝離に使用する。
- d○ 歯根面のSRPに使用する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 105-107、184-185

- 163 **解答**: a, b
- a○ う蝕処置は歯周基本治療の1つである。
- b○ 動揺歯の暫間固定は歯周基本治療である。
- c× 歯周外科治療である。
- d× 口腔機能回復治療としての補綴治療である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 74-84

- 154 **解答**: b, c
- a× 従来のフラップ手術(歯肉剝離掻爬術)にみられる長い上皮性付着による治癒形態ではなく、吸収性膜(GTR法)などによって歯肉上皮由来細胞や歯肉結合組織由来細胞の侵入を防ぐことで、新付着を伴う歯肉組織の再生を期待する。
- b○
- c○
- d× GTR法の適応症は、1~2度(Lindhe & Nymanの分類)の根分岐部病変、もしくは2~3度の垂直性骨欠損である。3度の根分岐部病変はGTR法の禁忌症である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 89-91

## 解答・解説

- 155 **解答**: d  
 写真の装置はフェイスボウ（顔弓）であり、上顎模型を咬合器に装着するために用いる。フェイスボウを用いて上顎模型を咬合器に装着し、顎蓋または顎関節と上顎歯列との位置関係を咬合器上で再現する操作をフェイスボウトランスファーという。  
 a× 咬合高径の設定（垂直的顎間関係の記録）はノギスなどを用いて行う。  
 b× 下顎運動の観察に用いる。  
 c× 下顎運動の観察に用いる。  
 d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 122-125  
 ポイントチェック③ 第5版 133  
 ポイントチェック③ 令和4年版出題基準準拠 152-153

- 156 **解答**: a, d  
 前歯部人工歯の選択に際しては、審美的要素を考慮して形態、色調、大きさを決定する。なお、前歯部人工歯の選択基準となる患者の性別（sex）、性格（personality）、年齢（age）は「SPA要素」とよばれる。  
 a○ 形態についてはモールドガイドを用いて、顔の輪郭、性別、性格、年齢と調和したものを選択する。  
 b×  
 c×  
 d○ 色調についてはシェードガイドを用いて、顔の皮膚の色、年齢、性別、患者の好みなどを考慮する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 122、125

- 157 **解答**: c  
 有床義歯において重要なのは、支持・維持・安定である。部分床義歯の構成要素は床・人工歯・維持装置（クラスプ、アタッチメント）、連結装置である。写真から床の破折や人工歯の脱落・破折は確認できず、パラタルバーはこの義歯には使われていないことがわかる。クラスプは、維持力を発揮する鉤腕と支持のレスト、ならびに床と連結する脚部が一体になっているがこの症例では鉤腕の破折が認められる。上顎の部分床義歯であることから、義歯脱落の主な原因はクラスプの破折であると考えられる。  
 a×  
 b×  
 c○  
 d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 152-155

- 158 **解答**: b, c  
 口腔粘膜に潰瘍を生じる疾患は、アフタ、壊死性潰瘍性歯肉炎、褥瘡性潰瘍などがある。  
 a× 白斑症は白斑を主徴とする病変で、口腔潜在的悪性疾患（前がん病変）の1つでもある。  
 b○ 再発性アフタは原因不明の複数のアフタ性潰瘍が再発を繰り返すものをいう。  
 c○ ペーチェット病は原因不明であるが、自己免疫疾患が疑われており、口腔粘膜の再発性アフタ、皮膚の結節性紅斑、虹彩毛様体炎、外陰部潰瘍を特徴とする全身疾患である。  
 d× シェーグレン症候群は主に口腔乾燥（ドライマウス）や眼の乾燥（ドライアイ）を主症状とする自己免疫疾患である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 57-63  
 ポイントチェック④ 第5版 5-8  
 ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 5-8

## 解答・解説

- 159 **解答**: a, c  
 血圧測定に際して、患者を座位あるいは臥位で安静とし、上腕を心臓の高さに置くことが重要である。また、マンシュートは肘窩より上1~2cmのところの下縁がくるようにし、マンシュートと腕の間に指が1~2本入る程度の強さに巻くことがポイントである。  
 a○  
 b×  
 c○  
 d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 180-182

- 160 **解答**: a, b  
 笑気吸入鎮静法は、歯科治療に対して不安や緊張が強い患者に対し、意識のある状態で精神的緊張を取り、痛みの感覚を軽減するために用いる。  
 a○ 催奇性の問題から妊娠初期の患者には禁忌とされている。  
 b○ 笑気濃度は20~30%にして行う。  
 c× ベリルの徴候は、静脈内鎮静法の至適鎮静度の指標になる。  
 d× 鎮痛作用はほとんどないため、疼痛を伴う処置には局所麻酔が必要である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 194-197、229-231  
 ポイントチェック④ 第5版 28-29  
 ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 29-30

- 161 **解答**: a, d  
 一次救命処置とは、現場に居合わせた人が行う救命処置のことであり、胸骨圧迫・気道確保・人工呼吸、自動体外式除細動器（AED）の使用を主な内容とする。静脈確保、薬剤投与、高濃度酸素の投与などは二次救命処置として、医師や救急救命士により病院や救急車内で行われる。  
 a○  
 b×  
 c×  
 d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 210-215

- 162 **解答**: a, c  
 矯正力の中でも、特に顎骨の位置や大きさのバランスをはかることを目的として顎骨に作用させる力を顎整形力という。顎整形力を発揮する装置としてはヘッドギア、上顎前方牽引装置、急速拡大装置、オートガイ帽装置などがあげられる。  
 a○ ヘッドギア（上顎顎外固定装置）は頭部あるいは頸部を固定源として顎整形力を上顎に伝え、上顎骨の成長抑制をはかる装置である。  
 b× 舌側弧線装置（リングルアーチ）は歯の移動を目的とした固定式矯正装置である。  
 c○ 上顎急速側方拡大装置は、上顎装置の口蓋正中部に固定されたネジ（エクспанションスクリュー）を毎日回すことで、上顎骨の正中口蓋縫合を離脱させ、上顎骨自体を側方に拡大する顎整形力を発揮する装置である。  
 d× ホーレタイプリテーナーは保定装置（ホーレー式保定装置）である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 60、64-77

## 解答・解説

163 **解答**: d  
 写真の装置はトランスパラタルアーチである。加齢固定装置の1つで、臼歯の近心移動を防ぐために左右の臼歯を太いワイヤーで連結しているのが特徴である。  
 a×  
 b×  
 c×  
 d○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 66-70

164 **解答**: a, b  
 予測模型とは、治療目標に基づいて矯正歯科治療後の咬合状態をシミュレーションするために、平行模型上の個々の歯を切り離して再排列した模型のことである。  
 a○  
 b○  
 c× Eラインと口唇の突出度の評価は側貌写真などで検討する。  
 d× 予測模型では外科矯正治療における上下顎骨の相対的な移動距離は検討できるが、上顎骨の頭蓋に対する位置づけの分析を行うことはできない。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 46-48

165 **解答**: a, b  
 リーウェイスぺースとは、乳犬歯・第一乳臼歯・第二乳臼歯と、その後継永久歯の歯冠幅径の総和の差である。  
 a○ 下顎で約3mm, 上顎では約1mmである。  
 b○  
 c× アンデルセン童話にちなんでつけられたのは、切歯交換期に歯間離開などが一時的にみられる「みにくいあひるの子の時代」である。  
 d× 上下顎乳歯列の近遠心的関係を評価する指標となるのはターミナルプレーンである。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 48-49

166 **解答**: b, d  
 a× フッ化ジアンミン銀はう蝕の進行抑制のために歯面塗布するが、歯を黒変させるため事前に保護者に説明をする必要がある。  
 b○ 抗てんかん薬の副作用として歯肉増殖症が発現することがある。  
 c× グアヤコールは歯髄鎮静に使用する薬剤であるが、歯根吸収を促進することはない。  
 d○ テトラサイクリン系抗菌薬は、形成中の歯に黄色や灰褐色の着色を生じさせることがある。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 38, 60

167 **解答**: b  
 無歯期とはHellmanの歯齢IAにあたり、生後8、9か月くらいまでの時期である。乳児の口腔内は吸嚙しやすい形態をしており、口蓋にみられる吸嚙窩や、頬部内面にみられるBichatの脂肪床、顎間空隙がその例としてあげられる。哺乳時にはこれらを利用して乳首を口腔内に取り込み、口唇と舌の協調運動によって口腔内を陰圧にして吸嚙を行う。  
 a○ 吸嚙窩は、口蓋中央部にみられるくぼみのことをさす。  
 b× 靈長空隙とは、乳歯列期にみられる生理的歯間空隙のことで、上顎では乳側切歯と乳犬歯の間に、下顎では乳犬歯と第一乳臼歯の間にそれぞれ存在する。  
 c○ 顎間空隙とは、閉口時に上下顎歯槽堤の乳前歯部のみが接触しない形態(空隙)のことである。  
 d○ ピシャの脂肪床は、頬部内面にみられる乳黄色の層をいう。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 43-44  
 ポイントチェック④ 第5版 81-82  
 ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 94-96

## 解答・解説

168 **解答**: a, b  
 高齢者に多い脱水とは、体液量(特に細胞外液量)が欠乏した状態をいう。高齢者はさまざまな原因によって脱水が起こりやすい。  
 a○ 加齢による腎機能の低下により、水分が相対的に多く排出され、脱水につながる。  
 b○ 嚥下機能の低下により誤嚥が生じやすくなるが、誤嚥を避けるために食事量・水分摂取量が減ると、食事による水分・や塩分(ナトリウム)の摂取量が不足し、脱水を起こしやすくなる。  
 c× ヘマトクリットとは赤血球の血球容積値である。脱水では血漿量が減って血液が濃縮するため、ヘマトクリット値は上昇する。  
 d× 脱水には主に水分不足によるものと、ナトリウム(細胞外液のイオン)不足によるものがある。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 95-98  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 49-50

169 **解答**: a, d  
 IADL(手段的日常生活動作)は、電話の使用、買物、食事の支度、家屋維持、洗濯、外出時の移動、服薬、家計管理の8項目で構成されており、点数が高いほどIADLが自立していることを意味する。  
 a○  
 b×  
 c×  
 d○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 76-79  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 103, 105

170 **解答**: c  
 a× 17歳以下の児童が対象である。  
 b× 精神保健福祉法(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律)は、精神障害者の福祉の増進などを図ることを目的としており、精神障害者の定義に年齢区分は設けられていない。  
 c○ 18歳以上の身体障害者が対象である。  
 d× 障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)は、障害者が基本的権利が尊重される日常・社会生活が営めるような支援を総合的に行うことを目的としている。18歳以上の障害者、および18歳未満の障害児を対象としている。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第3版 122-123  
 歯科衛生学シリーズ 保健・医療・福祉の制度 138-140  
 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 10-11  
 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 191-193  
 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学 第2版 203-205

171 **解答**: a  
 脳性麻痺の患者では不随意運動が起こりやすいため、頸頸部を前屈させ、上下肢を屈曲させる「ボバースらの反射抑制肢位」をとらせることでそうした反射を軽減できる。  
 a○  
 b×  
 c×  
 d×  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 69  
 ポイントチェック④ 第5版 146  
 ポイントチェック④ 令和4年版出題基準準拠 185

## 解答・解説

- 172 **解答**: b, c  
 ダウン症候群は、21番目の常染色体が3本(トリソミー症)になることで生じ、染色体異常の中では最も多い。特徴的な顔貌を呈し、口腔所見では矮小歯や円錐歯などの歯の形態異常、上顎の劣成長による反対咬合や交叉咬合、巨舌、溝状舌、歯の先天欠如、萌出遅延などが認められる。
- a ×  
 b ○ 永久歯の先天性欠如歯が多い(側切歯>小臼歯>上顎第二大臼歯)。  
 c ○  
 d × 筋肉の低緊張による口唇閉鎖不全がみられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 40、158-159  
 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 14-16

## 歯科予防処置論

- 173 **解答**: a, d  
 歯槽骨吸収には、水平性と垂直性がある。歯槽骨辺縁の吸収が、両隣在歯のセメント-エナメル境を結んだ線と平行な場合は水平性骨吸収、吸収が根面に沿って垂直に進行している場合は垂直性骨吸収である。
- a ○ 根分岐部にも骨吸収が及んでいる。  
 b ×  
 c ×  
 d ○ 第一大臼歯の遠心に高度な垂直性の骨吸収がみられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 23、144-145

- 174 **解答**: b, c  
 a × マテリアルバは白色または黄白色の無構造の軟らかい塊で、不潔な口腔内や自浄作用の行き届かない部位などに認められる。主に細菌の凝集塊や白血球、剝離上皮を含む。  
 b ○ プラークは時間とともに成熟し、偏性嫌気性のグラム陰性菌が増えていく。  
 c ○ 唾液流量の減少により口腔乾燥状態となると、自浄作用が低下し、プラークの蓄積量が増加する。プラークの蓄積量を増加させる因子をプラークリテンションファクターという。  
 d × ペリクルは歯の表面に形成される薄膜で、酸による脱灰から歯面を保護する役割がある。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 28-32  
 ポイントチェック⑤ 第5版 10-11  
 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 10-11

- 175 **解答**: a, b  
 a ○  
 b ○ ②は付着歯肉といい、角化した上皮で覆われている。  
 c × ③は歯肉溝といい、正常な歯周組織では深さが頬舌側は1~2mm、隣接面は2~3mmである。  
 d × ④は接合上皮といい、歯面と上皮性付着している。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 8-12

- 176 **解答**: c  
 フッ化物配合歯磨剤の使用には、年齢に応じた使用量と使用方法が大切である。なお、泡状歯磨剤やMFP(モノフルオロリン酸ナトリウム)歯磨剤では年齢によって適応となるフッ化物イオン濃度が変わってくるため、注意が必要である。
- a × 3~5歳では500ppmが適応だが、使用量は5mm程度である。  
 b × 6~14歳における使用量は1cmだが、フッ化物イオン濃度は1,000ppmが望ましい。  
 c ○  
 d × 15歳以上では1,000~1,500ppmの歯磨剤を2cm程度使用するのが望ましい。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 247-249

## 解答・解説

- 177 **解答**: c, d  
 深い歯周ポケットや根分岐部病変では、SRP後も歯石片や病的セメント質が残存している可能性が高く、これらを洗浄によって除去することをイリゲーションという。このとき、イリゲーション効果のある超音波スケーラーと薬剤を併用することで、バイオフィルムの破壊やグラム陰性嫌気性菌の減少などもはかることができる。
- a × エタノール製剤は粘膜や損傷部位には禁忌である。主に手指や皮膚の消毒に用いられる。  
 b × グルタルールは医療器具用の消毒薬である。人体には使用できない。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 219  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 177

- 178 **解答**: c, d  
 歯面清掃器は、霧状の水とともに射出する炭酸水素ナトリウム(重炭酸ナトリウム)パウダーにより、プラークや色素沈着(ステイン)の除去を目的として使用する。
- a × 気腫などの偶発症を引き起こすおそれがあるため、根面や歯肉縁下に向けて直接噴射しないようにする。  
 b × 歯肉方向に向けて噴射すると気腫などの偶発症を引き起こすおそれがあるため、ノズルは切縁方向に向けて操作する。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 230-233

- 179 **解答**: b, c  
 a × 舌側中央では必要に応じて斜めストロークも行う。  
 b ○  
 c ○  
 d × 垂直ストロークはポケット底から切縁に向かって操作する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 196

- 180 **解答**: b, d  
 グレーシータイプキュレットのトウ(先端)から最初の屈曲部を第1シャンク、次の屈曲部を第2シャンクという。グレーシータイプキュレットは第1シャンクに対し刃部内面が70度に傾斜しており(オフセットブレード)、傾斜した下側がカッティングエッジになっている。このスケーラーは部位特異性があるため、前歯部、白歯部、近心面、遠心面など部位によりスケーラーの番号を選択して用いる。
- a × 第1シャンクに対して刃部内面が90度をなしているのはユニバーサルタイプキュレットである。  
 b ○ 前歯部用(#1/2、#3/4、#5/6)、白歯部の頬舌側面用(#7/8、#9/10)、白歯部の近心面・近心隣接歯間部用(#11/12)、白歯部の遠心面・遠心隣接歯間部用(#13/14)があるため、一口腔内のスケーリングには最低4本のキュレットタイプスケーラーが必要である。  
 c × アフターファイブはスタンダードタイプより第1シャンクが3mm長いものである。また同じく第1シャンクがスタンダードタイプよりも3mm長く、刃部がスタンダードタイプの1/2のミニファイブがある。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 164-165  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 192-193

## 解答・解説

181 解答：b  
 PMTCとは、エバシステムという専用の器具を用いて行う、専門家による機械的歯面清掃（プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング）のことである。①プラークの染め出し（写真④）→②フッ化物配合研磨剤と専用の器材（エバチップやラバーカップ、ポリッシングブラシなど）による歯面清掃（写真②）→③再染色→④スリー-ウェイシリンジを用いた残存研磨剤の洗浄（写真①）→⑤フッ化物塗布（写真③）の順で行う。

- a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 228-230  
 ポイントチェック⑥ 第5版 39  
 ポイントチェック⑥ 令和4年版出題基準準拠 43

182 解答：a、c  
 超音波スケーラーは多量に沈着している歯肉縁上の歯石除去を目的に使用されてきたが、近年は本体やインサートチップの改良により根分岐部や歯肉縁下への到達性もよくなっている。操作の際、手用スケーラーのような強固な固定は必要なく、フェザータッチで使用できるため術者の疲労が少ないといった利点がある。しかし、禁忌症や使用時に注意を要する症例もあるため、患者の適応を見極めて使用する必要がある。

- a ○ 器具の到達性がよいため、根分岐部などの複雑な形態の歯周ポケットにも適応できる。  
 b × インサートチップ自体が振動しているため、特に歯肉縁下歯石や細かい歯石の触知は難しい。  
 c ○ 塩分摂取制限患者に使用できないのは、炭酸水素ナトリウムパウダーを用いる歯面清掃器である。  
 d × 超音波の振動がペースメーカーの誤作動を招くおそれがあるため、ペースメーカー装着者への使用は避ける。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 209-213

183 解答：b、d  
 a × プローブは執筆状変法把持法（ペングリップ）で軽く把持する。  
 b ○  
 c × プローブ先端がポケット底部に到達するよう挿入する。ポケット底部を傷つけないよう、プローブ先端を歯面に適合させながらゆっくり挿入する。  
 d ○ 出血（BOP）の検査では、プローブの刺激によって起こるポケット底部からの出血の有無を評価するため、出血量にかかわらず出血があればBOP（+）、出血がなければBOP（-）とする。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 147-149  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 140-142

184 解答：c  
 悪心・嘔吐が起こるのは体重1kgあたり2mgのフッ化物量とされる。したがって体重20kgの悪心・嘔吐発現フッ化物イオン量は、2 (mg) × 18 (kg) = 36 mgとなる。2%フッ化ナトリウム溶液100mL中にフッ化物は900mg含まれている（9,000 ppm）ので、900 (mg) : 100 (mL) = 36 (mg) : X (mL) となり、悪心嘔吐が発現するフッ化物溶液量（X）は4mLとなるので、5mm綿球が0.1mLの溶液を含むとすると、4mL ÷ 0.1mL = 40個となる。

- a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 253

## 解答・解説

185 解答：c  
 0.2%フッ化ナトリウム溶液（900ppm）の1mL中のフッ化物量は0.9mgである。誤飲した洗口液は10mLなので、フッ化物量は9mgとなる。この男児の急性中毒発現量は15kg × 2mg = 30mgであることから、中毒の発現の可能性は低い。

- a ×  
 b ×  
 c ○ 飲み込んだフッ化物量が9mgであるので、急性中毒が生じる心配はない。  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 253-254

186 解答：a  
 各フッ化物イオン濃度は以下のとおりである。  
 ① フッ化ジアンミン銀溶液——45,000ppm（フッ化ジアンミン銀塗布法）  
 ② 2%フッ化ナトリウム溶液——9,000ppm（フッ化物歯面塗布法）  
 ③ モノフルオロリン酸ナトリウム——1,500ppm（フッ化物配合歯磨剤）  
 ④ リン酸性フッ化ナトリウムゲル（第1法）——12,300ppm（フッ化物歯面塗布法）

- a ○  
 b ×  
 c ×  
 d ×

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 257

187 解答：b、d  
 小窩裂溝充填は、歯質を削らずに充填材でう蝕に罹患しやすい小窩裂溝を封鎖して、う蝕の発生を防ぐ方法である。対象歯は、萌出後間もない健全な乳歯、永久歯である。充填材は大きく分けて、レジン系のBis-GMAとセメント系のグラスアイオノマーセメントがあり、重合法には光重合型と化学重合型がある。

- a × 対象歯には乳歯（萌出後間もない健全歯）も含まれる。  
 b ○ 小窩裂溝充填材の脱落の有無と口腔内状態の観察のため、6か月を目安にリコールが必要である。また、定期的なフッ化物の塗布と口腔内清掃状態の確認も必要である。  
 c × 照射は充填面に対して直角に行う。  
 d ○ グラスアイオノマーセメントは酸処理の必要がないため、ラバーダム防湿ができない半萌出歯でも、簡易防湿による充填が可能である。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 258-264  
 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 113-118

## 歯科保健指導論

188 解答：b、d  
 写真はスーパーフロスはデンタルフロスの一種であり、フロススレッダー（誘導針）の役割を果たす細くて硬い部分と、スポンジ状フロスが一体化したものである。使用推奨部位はデンタルフロスと同じだが、特に補綴装置連結部やブリッジ基底部、矯正装置の装着部位など、デンタルフロス単体での挿入が困難な部位に対して有用である。

- a × 根分岐部にはタフトブラシや歯間ブラシが有効である。  
 b ○  
 c × 最後臼歯遠心面にはタフトブラシや歯間ブラシが有効である。  
 d ○

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 278-282

## 解答・解説

189 解答: b, c

健康教育を実施した場合、実施後、設定した目標に対して対象者にどのような変化や効果があったかを確認し、企画や実施についての分析・検討を行ってフィードバックする。アウトカム、アウトプット、プロセス、ストラクチャーの4つの側面から評価を行う。

- a × プロセス（過程）評価とは、過程、作業、手順の意味で、事業の質の評価である。
- b ○ アウトカム（結果）評価は、疾患量や医療費の減少などの成果を示す。DMFT 指数や CPI の変化などがある。
- c ○ ストラクチャー（構造）評価として、事業における人員体制、予算、施設の状況、他機関との連携体制などの評価がある。
- d × アウトプット（事業実施量）評価には、事業の実施回数、参加者数や受診者数がある。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 235-236  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 237-238  
 ポイントチェック⑤ 第5版 133-134  
 ポイントチェック⑤ 令和4年版出題基準準拠 105-106

190 解答: b, c

- a × PI (Periodontal Index) は歯周炎の進行度を評価するための指数である。
- b ○ PHP (Patient Hygiene Performance) は口腔清掃実行度ともよばれ、ブラッシングの清掃効果を評価するための指標である。
- c ○ OHI (Oral Hygiene Index) は、歯面に付着しているプラークと歯石の付着・沈着状態を観察し、口腔衛生状態を評価するための指標である。
- d × PMA Index は歯肉炎の広がりを表す指数である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 158-163

191 解答: b, c

- a × PCR が80.8%であることから、口腔清掃状態は悪い。
- b ○ 歯周組織検査の結果をみると、特に歯周ポケットが4mmの白歯部で出血が多いことがわかる。このことから、歯磨き時の出血は歯周炎が原因であると考えられる。
- c ○ 口呼吸は歯周病のプラークリテンションファクター（炎症性修飾因子）である。口腔内が乾燥すると、自浄作用が低下してプラークが蓄積しやすくなる。
- d × 出血の原因は歯周炎と考えられることから、出血部位も含めて全顎にわたって丁寧にブラッシングを行わなければならない。患者のブラッシング方法と清掃用具の確認が必要である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 158-163

192 解答: c, d

1歳6か月児健診でのう蝕罹患型 A 型は、上顎前歯部のみ、または白歯部のみにう蝕があり、このままではう蝕が広がる可能性がある状態である。この時期の幼児は1日に必要な栄養量を3回の食事だけでは満たせないため1~2回の間食が必要であるが、間食の種類や回数によりう蝕を発症しやすい状態となるので、う蝕リスクに対する適切な指導が必要となる。

- a × 牛乳の摂取自体はう蝕の危険因子とはならない。
- b × 幼児にとって一日に1~2回程度の間食は必要であるため、間食を禁じるのは不適切である。
- c ○ 歯が萌出していないうちは積極的な口腔清掃は必要なく、授乳後にガーゼで拭う程度でよいが、1歳6か月ではすでに乳歯が萌出しているため、歯ブラシとフッ化物配合歯磨剤を用いた口腔清掃が必要である。しかし、この時期はまだ幼児本人が積極的に口腔清掃を行うことは困難であるため、親が主体で口腔清掃を行う。
- d ○ 就寝時の授乳はう蝕のリスク因子となるため、やめさせるのが望ましい。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 253-260  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 255-261  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 324-330

## 解答・解説

193 解答: d

PCR は  $16/116 \times 100 = 13.8\%$  で口腔清掃状態はおおむね良好であるが、誤ったブラッシング方法が原因と思われる歯肉退縮がみられる。日常使用している歯ブラシの硬さや把持法、ブラッシング圧、ストロークの大きさなどをチェックし指導を行う必要がある。

- a × 歯肉退縮、および患者の所見と問食は特に関連がない。
- b × PCR、歯周ポケット、歯肉出血の状態から歯周病による歯肉退縮ではないと考えられる。
- c × 口呼吸によって生じる所見にはテンションリッジなどがあるが、写真からは確認できない。
- d ○ 歯肉退縮は過度なブラッシング圧が原因と考えられるので、ブラッシング方法の指導が必要である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 268-278  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 128-133

194 解答: b

口臭検査法には、官能検査（鼻で臭いをかいで臭気を測定する方法）と口臭測定器を使用する検査がある。

スコア	判定	判定基準
0	臭いなし	鼻で嗅ぎ取れるような臭いを感知しない
1	非常に軽度	臭いを感知するが、悪臭と認識できない
2	軽度の口臭	かろうじて悪臭と認識できる臭い
3	中等度の口臭	悪臭と容易に判定できる
4	強度の口臭	がまんできる強い悪臭
5	非常に強い口臭	がまんできない強烈な悪臭

- a ×
- b ○ 正確な嗅覚をもつ人が検査を実施する必要がある。
- c × ガスクロマトグラフィーの原理を用いるのは口臭測定器を使用した検査である。
- d × 官能検査による判定基準は、スコア2以上で口臭ありと診断される。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 152-153

195 解答: c

食品の栄養素のうちエネルギーとなるのは三大栄養素（糖質、脂質、タンパク質）であり、それぞれの重さ（g）にアトウォーターのエネルギー換算係数を掛ければエネルギー量が算出できる。ゆでたまごの可食部50gに含まれるタンパク質は  $50 \text{ g} \times 0.12 = 6 \text{ g}$ 、タンパク質のアトウォーターのエネルギー換算係数は  $4 \text{ kcal/g}$  であるので、そのエネルギー量は  $6 \text{ g} \times 4 \text{ kcal/g} = 24 \text{ kcal}$  となる。同様に、ゆでたまごの可食部50gに含まれる脂質は  $50 \text{ g} \times 0.1 = 5 \text{ g}$ 、脂質のアトウォーターのエネルギー換算係数は  $9 \text{ kcal/g}$  であるので、そのエネルギー量は  $5 \text{ g} \times 9 \text{ kcal/g} = 45 \text{ kcal}$  である。したがって、ゆでたまご1個（50g）の総エネルギー量は、 $24 + 45 = 69 \text{ kcal}$  である。ここでは、数値が最も近い約70kcalを正解として選択する。

- a ×
- b ×
- c ○
- d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 128-129

解答・解説

196 **解答**: b  
 基礎代謝量とは、生きていくのに最低限必要なエネルギーのことである。この値は年齢、性別、体格、体温、栄養状態、妊娠、ホルモンなどによって影響される。  
 a× 妊娠後期には15~20%増加する。  
 b○ 体重、および体表面積に比例する。  
 c× 甲状腺機能亢進時は甲状腺ホルモンの分泌が亢進し、基礎代謝量は増加する。  
 d× 1日あたりでは男性15~17歳、女性12~14歳が最高である。1~2歳が最高となるのは体重1kgあたりの値である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 132-133

197 **解答**: b  
 虐待には、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の4種類がある。ネグレクトは保護者として監護・養育を著しく怠ることである。例えば、病気になっても病院に連れていかない、子どもの健康・安全への配慮を怠っている、食事を与えない、衣服や住居が極端に不潔、教育を受けさせないなどがネグレクトにあてはまる。  
 a× 性的虐待は、子どもにわいせつな行為をすること、または子どもにわいせつな行為をさせることである。  
 b○  
 c× 身体的虐待は、体に外傷が生じる、または生じるおそれのある暴行を加えることである。  
 d× 心理的虐待は、子どもに激しい暴言・脅迫・無視などの著しい心理的外傷を与える言動をすることである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 246  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 247  
 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 49-50  
 最新歯科衛生士教本 小児歯科 第2版 68-70

198 **解答**: c, d  
 本患者は、大白歯部の深い歯周ポケットと全顎的な出血が認められることから、歯周病であることがわかる。また写真を見ると、使用から一週間にも関わらず歯ブラシの毛先が広がっており、ブラッシング圧が強いことが推測される。  
 a× ローリング法は比較的健康的な歯肉が適応であり、細かい操作が困難であることから、本患者には不適切である。この場合はバス法などを指導するのが望ましい。またブラッシング圧が強いことからローリング法は不適切である。  
 b× 歯周炎などにより歯肉から出血が生じている場合は、通常「やわらかめ」の歯ブラシを勧めるのが望ましい。この状態で「かため」の歯ブラシを選択すると擦過傷などを生じてしまう可能性があるため、選択肢は不適切である。  
 c○ 歯周病の患者には、歯周ポケットのプラークコントロールと歯磨剤の薬用成分を歯周ポケットに行き渡らせることが求められるため、毛先が細くなっているテーパータイプ歯ブラシが有効である。  
 d○ ブラッシング圧が強いことが推測されるため、無駄な力が入りにくいベングリップでの把持が有効である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 268-278  
 ポイントチェック⑥ 第5版 71, 75  
 ポイントチェック⑥ 令和4年版出題基準準拠 73, 77

199 **解答**: c, d  
 4歳児では乳歯列が完成しており、一般的にぶくぶくうがいができるようになるためフッ化物洗口が可能である。また幼児自身で口腔清掃を習慣的にできるよう、仕上げ磨きなど保護者による援助が必要である。  
 a× 指しゃぶり(吸指癖)は4歳までは生理的なものと考えられ、歯列にも影響はないため自然にやめるまで経過観察をする。ただし5歳以上になると自然にやめる可能性が低く、心理的要因による行動と考えられるため指導が必要になる。  
 b× 自我が芽生える3歳頃から偏食が始まり、食事を強制されることなどによる食欲不振が生じることもあるため、規則正しく栄養バランスのとれた食生活が重要となる。また食事を通じて自立心・社会性を育むためにも、幼児期の食生活には周囲の支援や工夫が必要である。食の自己管理能力を育成する指導が重要となるのは学齢期である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 330-338

解答・解説

200 **解答**: b  
 食事中にむせが生じていることから、嚥下障害の可能性が考えられる。また、血清アルブミン値が低栄養の指標となる3.5 g/dLを下回っているため、低栄養のリスクがあり、十分に栄養を摂取できていない可能性が考えられる。疲労のために食事摂取のペースが落ちている症例では、1回で摂取できる栄養量を多くし、さらに間食で不足を補う方法が有効である。  
 a× 嚥んで飲み込む動きに大きな問題はみられないことから、即座に流動食に変更するのは適切ではない。食事の楽しみを抑制してしまうことのないよう、状態をよく観察しながら食形態は検討していくべきである。  
 b○  
 c× 誤嚥のリスクを減らすためには、頸部を前屈させる姿勢が有効である。  
 d× 十分に栄養を摂取できていないと考えられるため、1回で摂取できる栄養量を多くするべきである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 99-103, 181-183  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 122-127, 221-223  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 375-382

201 **解答**: a, b  
 歯周病は糖尿病の合併症として認知されており、歯周治療が糖尿病の改善をもたらすこともある。糖尿病に関する正しい知識をもったうえで、歯科治療時の注意点を考慮しながら、適切な指導を行うことが大切である。  
 a○ 血糖コントロールが不良な場合、口腔乾燥を引き起こし、口腔衛生状態が悪化することがある。  
 b○ 歯周治療によりインスリン抵抗性が改善し、血糖コントロールも改善することが知られている。  
 c× 1型糖尿病の主な原因は自己免疫反応の異常である。過食や運動不足、肥満などの環境因子や加齢が原因となって発症するのは2型糖尿病である。  
 d× HbA1cとは、血液内でグルコース(ブドウ糖)と結合したヘモグロビンの割合である。この数値が高いほど血糖コントロールは不良といえる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 66, 133  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 71-72  
 歯科衛生学シリーズ 臨床検査 117-120

202 **解答**: d  
 口腔機能低下症は、①口腔衛生状態不良、②口腔乾燥、③咬合力低下、④舌口唇運動機能低下、⑤低舌圧、⑥咀嚼機能低下、⑦嚥下機能低下の検査を行い、うち3項目以上が該当した場合に診断される。  
 a× フードテストは摂食嚥下障害のスクリーニング検査である。口腔機能低下症の診断に用いるものではない。  
 b× ガムラビング(歯肉マッサージ)は、摂食嚥下障害に対する訓練法である。  
 c× 反復唾液嚥下テスト(RSST)は摂食嚥下障害のスクリーニング検査である。口腔機能低下症の診断に用いるものではない。  
 d○ 口腔の運動機能の評価で、「パ」「タ」「カ」を繰り返して発音してもらい、舌や口唇、軟口蓋の運動の速度や巧緻性を評価する。口腔機能低下症の検査では、舌口唇運動機能低下の検査として行う。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 71-73, 78  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 95-98  
 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版 86-88

## 解答・解説

- 203 **解答**: b  
 図は特定保健用食品(トクホ)のマークである。消費者庁が食品の効果・効能を認めた特定保健用食品のみにつけられるマークで、歯に関しては「むし歯の原因になりにくい食品」「歯を丈夫で健康にする食品」の表示が許可されている。また、これらは健康増進法にて定められている。
- a × 特定保健用食品は保健機能食品の一つであるが、これは「食品」に分類される。予防や治療を目的とした有効成分の効果と安全性が国に認められている「医薬品」や「医薬部外品」とは異なる。
- b ○
- c × 特定保健用食品は、製品ごとに食品の有効性や安全性について審査を受け、表示について国の許可を受ける必要がある。選択肢の内容は「栄養機能食品」に関する記述である。
- d × 国際トウモロコシ協会が許可する「歯に信頼」マークに関する記述である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 77-79  
 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 187-188

- 204 **解答**: a  
 写真から、口腔内に多量の食物残渣が停滞していることがわかる。食事のむせを訴えていることから、この女性は摂食嚥下機能の低下が疑われる。そのため、RSST(反復唾液嚥下テスト)などによるスクリーニング検査や、嚥下造影検査(VF)などによる精密検査も必要と考えられるが、まずは口腔清掃を行って食物残渣を除去することが最優先である。
- a ○
- b × CTなどで造影検査を行う場合は禁食が必要になるが、本症例で優先して行う対応ではない。
- c × おそらく歯石付着も予想されるが、まずは口腔清掃を行ってからである。
- d × 嚥下造影検査(VF)などの精密検査を行う前に、スクリーニング検査が必要である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版 375-382  
 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 169-172  
 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 210-214

- 205 **解答**: a, b  
 歯周疾患検診、骨粗鬆症検診(女性のみ)、肝炎ウイルス検診、がん検診は健康増進法に基づく保健事業として市区町村が実施している。
- a ○
- b ○
- c × 高齢者医療確保法に基づいて実施される。
- d × 高齢者医療確保法に基づいて実施される。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版 283-286  
 歯科衛生学シリーズ 保健生態学 285  
 歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第10版 58, 64

## 歯科診療補助論

- 206 **解答**: c, d  
 診療前の問診などであらかじめ感染症が明らかになっている場合や、感染症の疑いがある場合には、スタンダードプレコーション(標準予防策)に加えて、その感染ウイルスに応じた予防策を行うことが必要である。
- a × グローブはサイズの合ったものを着用する。
- b × 消毒用エタノールはB型肝炎ウイルス(HBV)に対し無効である。グルタラルや次亜塩素酸ナトリウムによる清拭が有効である。
- c ○
- d ○ 印象体はグルタラルもしくは次亜塩素酸ナトリウム溶液に一定時間浸漬し、その後水洗する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 38-40

## 解答・解説

- 207 **解答**: b, d  
 印象精度の高い印象材として寒天印象材、シリコーンゴム印象材、酸化亜鉛ユージノール印象材があげられる。いずれも精密印象採得に用いられる。
- a × アルジネート印象材は概形印象採得に用いられる。ほかの精密印象材と比較して多少精度が落ちる。
- b ○
- c × モデリングコンパウンドは完全に硬化するとアンダーカットなどに引っかかるので、少し軟らかいうちに口腔外に取り出し、水で冷やして硬化させる。そのため変形量が大きく、印象精度はよくない。概形印象採得に用いられる。
- d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 36-43

- 208 **解答**: c  
 仮封とは、窩洞形成後の最終修復物の装着までの間などに、歯面の汚染や細菌感染を予防する目的で、仮の材料で一時的に窩洞や根管を封鎖する処置のことである。そのため、仮封材は修復中は窩壁(歯質)に密着して封鎖性に優れ、必要ときには除去できる性質が求められる。仮封材にはセメント系、水硬性、レジン系、テンポラリーストッピングなどがあり、それぞれ物性と使用する目的が異なる。
- a × 非ユージノール系のセメント系仮封材である。辺縁封鎖性に優れているためプロビジョナルレストレーション(テンポラリークラウン)の仮着にも用いられるが、歯質への接着性はない。
- b × 水硬性仮封材である。歯髄への刺激が少なく封鎖性も良好であり、接着性を有さないため除去しやすい。
- c ○ カルボン酸系のセメント系仮封材である。歯質への接着性を有し、封鎖性にも優れている一方、除去が困難である。プロビジョナルレストレーション(テンポラリークラウン)の仮着にも用いられる。
- d × テンポラリーストッピングである。熱可塑性で粘着性を有するが、歯質への接着性がなく、辺縁封鎖性も不良であるため他の材料と併用されることが多い。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科材料 110-115, 119

- 209 **解答**: c  
 根管の拡大・化学的清掃によって主根管の拡大部分は清掃されるが、根管形成時にファイルが到達しなかった根管や十分に根管洗浄が行えなかった根管には、象牙質削片などの感染源が残留していることがある。そこで、持続的殺菌効果を期待して根管の消毒(根管封薬)が行われる。従来はフェノール製剤やホルムアルデヒド製剤がよく使われていたが、強い細胞毒性と組織傷害性があるため、現在は水酸化カルシウム製剤が主に使われている。
- a × 根管清掃薬である。抗菌作用はないが、無機質溶解作用を有するため、根管壁表面のスマー層を除去できる。
- b × 根管清掃薬である。3%過酸化水素水(オキシドール)を用いて、その酸化作用により根管内を清掃する。さらに、次亜塩素酸ナトリウム溶液と併用することで発泡を生じるため、機械的清掃効果も期待できる。
- c ○
- d × 根管清掃薬である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 156-159  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 173-175

- 210 **解答**: c, d  
 ガッタパーチャポイントとは、根管充填材としての所要性質をほぼ満たしているため、その主流として使用されている。組織親和性がある、生体に無害で吸収されにくい、化学的・物理的にも安定している、加熱や有機溶媒により軟化・溶解するため根管から除去しやすいなどの特徴がある。
- a × 熱により軟化する。
- b × 歯質接着性はない。
- c ○
- d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 162-163  
 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 180-182

## 解答・解説

211 解答: b, c

写真はゴシックアーチ描記法に使用する器具である。ゴシックアーチ描記法は下顎運動の記録法の1つで、決められた咬合高径における下顎の前後・側方運動の軌跡を記録し、そこに描かれた描記図（ゴシックアーチ）をもとに水平的顎位の決定や診断を行うことができる。

- a × 水平的顎間関係の記録に用いられる。
- b ○
- c ○ 描記された矢じりの形をゴシックアーチ、その先端をアベックスとよぶ。
- d × チェックバイト材硬化後は、記録床を一塊のまま口腔外へ取り出す。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 126-127  
最新歯科衛生士教本 歯科機器 126-128

212 解答: c, d

写真は間接修復において、技工操作で完成された全部床被覆冠である。この後、口腔内試適（調整）を経て口腔内に仮着・合着される。

- a × 咬合平面板は主に全部床義歯製作の咬合採得時に使われる。
- b × モールドガイドは既製の人工歯の形態見本であり、部分床義歯や全部床義歯の製作において、技工操作前に用いられる。
- c ○ コンタクトゲージは、口腔内試適時に隣接歯の歯間関係を検査するのに使用する。
- d ○ エキスプローラー（短針）は、口腔内試適時にクラウン辺縁部の適合状態を確認するのに使用する。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 144-148  
最新歯科衛生士教本 歯科補綴 第2版 91-92

213 解答: c

図は永久止血法における血管結紮法で、止血鉗子で血管損傷部位を把持し、これに縫合糸をかけて結紮する方法である。

- a × 挫滅法は骨からの出血に対する止血法で、骨挫滅器（止血ノミ）で出血部の骨を挫滅させて止血させる方法である。
- b × 創縁縫合法は出血が生じている創縁を縫合、閉鎖して止血する方法である。皮膚や粘膜表層の小出血のみに用いられる。
- c ○
- d × 焼灼法（凝固法）は、出血部組織を鉗子や鑷子（ピンセット）などでつかみ、電気メスで凝固する方法である。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 164-166

214 解答: d

歯槽骨整形術は、安定性の良い義歯を製作するために歯槽突起の一部を切除する手術である。歯肉を替刃メス（尖刃刀、円刃刀）で切開し、骨膜剝離子（ラスパトリウム）や骨膜起子で骨膜を剝離して骨を明示し、不整な骨を骨バーあるいは破骨鉗子、骨ノミ（マイセル）、骨ヤスリを用いて削除し、骨面を平坦化する。

- a ○
- b ○
- c ○
- d × カークランドメスは歯肉ナイフ（ペリオドンタルナイフ）ともよばれ、歯周形成手術などの歯周外科治療に用いられる。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 158-159、246-247

215 解答: c

写真は安静時の声帯の写真である。①は気管、②は声帯であり、安静時は声帯が開いている様子がわかる。

- a ×
- b ×
- c ○
- d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 169-173、179  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 210-211

## 解答・解説

216 解答: a, b

頭部エックス線規格写真の分析では、分析に必要な計測点と基準平面を写真のトレース図に記入し、顎骨の位置や大きさ、歯の位置を分析する。そのためには計測に必要な計測点と基準平面を理解する必要がある。

- a ○
- b ○ SNA角は上顎骨の前後的位置を、SNB角は下顎骨の前後的位置を表す。
- c × メントン（Me）はオトガイ部の最下点にある。オトガイ部の最前方点にあるのはポゴニオン（Pog）である。
- d × FH平面はフラン克福ルト平面ともいわれ、ポリオン（Po）とオルビターレ（Or）を結んだ平面である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-51

217 解答: a, c

乳臼歯で多面歯にわたるう蝕や歯冠崩壊の著しい歯、歯髄処置を施した歯などには、乳歯用既製金属冠を使用した歯冠修復が行われる。

- a ○ ①は咬合面調整鉗子である。乳歯冠の咬合面の調整に用いる。
- b × ②は抜歯鉗子である。
- c ○ ③はゴードンのプライヤーである。乳歯冠の辺縁形態の調整に用いる。
- d × ④はピンアンドリガチャーカッターである。矯正治療で結紮線の切断に用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 186-188  
最新歯科衛生士教本 歯科機器 168-170

218 解答: a

RSST（反復唾液嚥下テスト）は、摂食嚥下障害のスクリーニングテストの中で最も簡単にできるテストである。30秒間に行えるテストである。30秒間に行えるテストの中で最も簡単にできるテストである。30秒間に行えるテストの中で最も簡単にできるテストである。30秒間に行えるテストの中で最も簡単にできるテストである。

- a ○
- b ×
- c ×
- d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 166  
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 208

219 解答: b, c

放射線防護の原則は、適切な遮蔽をする、線源からの距離を大きくとる、放射線の照射時間を短くすることである。

- a × 照射線量は管電流と照射時間に比例するため、管電流を上げることは照射線量の増加につながる。
- b ○
- c ○
- d × ポケット線量計は、特定の個人の被曝量を測定するもので、線量を軽減する効果はない。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 16-17、27-29

220 解答: a

低年齢児や障害者では、歯科治療に対し不安や恐怖を抱き、適応行動がとれず、泣き叫んだり拒否したりすることが少なくない。行動療法（行動変容法）とは、このような不適応行動を減弱あるいは消去し、適応行動を引き出す方法である。

- a ○ TSD法（Tell-Show-Do法）は実物を示しながらわかりやすい言葉で伝え、体験させることで適応行動を引き出すことができる方法である。現実の場面で不安や恐怖を生じさせる刺激に少しずつ触れさせることで克服させる。
- b × カウント法は、短時間しか我慢できない患者に対し、約束した秒単位の時間をカウントしながら体験させ、適応行動を育てていく方法である。
- c × 刺激統制法は、患者にとって快適な環境を整える方法である。
- d × タイムアウト法は、痛みや不快なことがないにも関わらず、患者が泣き叫んだり暴れたりして取まらないときに、一時的に本人だけを残して周りの者が離れる方法である。

文献: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 59-66

# 歯科衛生士書き込み式学習ノート

医歯薬出版 編

ビジュアルなイラストや図表を用いて「ドリル形式」でまとめた『自分で書き込む』学習ノートシリーズ

- ◆「歯科衛生学シリーズ」に準拠した自習ノートで、教科書の理解がより深まります。
- ◆各ページはミシン目に沿って切り離せます。講義で配布されたプリント類と一緒にまとめたり、自分の得意や苦手に応じて整理したりなど、さまざまな使い方ができます。また、巻末にまとめられた、書き込み部分（重要なワードなど）の解答一覧も取り外しが可能です。
- ◆要所に「歯科衛生学シリーズ」の参照ページが明示されているので、わからない部分をすぐに確かめることができます。
- ◆2023年から年度ごとの発行となります。

## ① 専門基礎科目編 2023年度

人体の構造と機能 / 歯・口腔の構造と機能  
疾病の成り立ち及び回復過程の促進

●A4判変形 / 352頁 / 2色  
定価 5,280円 (本体 4,800円+税10%)

## ② 社会歯科系科目編 2023年度

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

●A4判変形 / 232頁 / 2色  
定価 3,520円 (本体 3,200円+税10%)

## ③ 臨床科目編〈上〉 2023年度

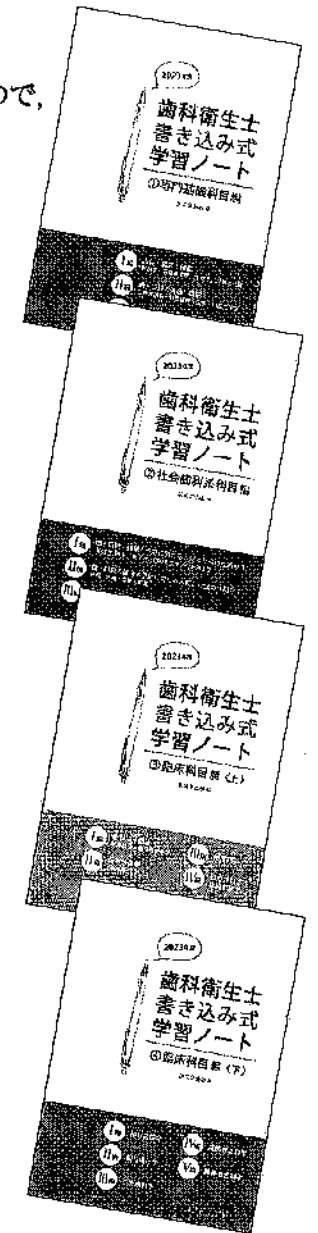
臨床検査 / 歯科放射線学 / 保存修復学・歯内療法学  
歯周病学 / 口腔外科学・歯科麻酔学

●A4判変形 / 272頁 / 2色  
定価 4,180円 (本体 3,800円+税10%)

## ④ 臨床科目編〈下〉 2023年度

歯科補綴学 / 歯科矯正学 / 小児歯科学  
高齢者歯科学 / 障害者歯科学

●A4判変形 / 240頁 / 2色  
定価 3,630円 (本体 3,300円+税10%)



科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問1~4	問111~113
生化学	3	問5	問114~115
生理学	6	問6~8	問116~118
病理学	5	問9~11	問119~120
微生物学	5	問12~13	問121~123
薬理学	5	問14~16	問124~125
口腔衛生学	15	問17~23	問126~133
衛生学・公衆衛生学	16	問24~31	問134~141
歯科衛生士概論	7	問32~35	問142~144
臨床歯科総論	4	問36~37	問145~146
保存修復学	5	問38~39	問147~149
歯内療法学	5	問40~42	問150~151
歯周治療学	5	問43~44	問152~154
歯科補綴学	7	問45~48	問155~157
口腔外科学	7	問49~51	問158~161
歯科矯正学	7	問52~55	問162~164
小児歯科学	5	問56~57	問165~167
高齢者歯科学	5	問58~60	問168~169
障害児者歯科学	5	問61~62	問170~172
歯科予防処置	30	問63~77	問173~187
歯科保健指導	36	問78~95	問188~205
歯科診療補助	30	問96~110	問206~220
計	220		

(出題数は当社予測による)